

# 官報 號外

大正十年二月二十七日 日曜日

印刷局

第四十四回 衆議院議事速記録第二十號

大正十年二月二十六日(土曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第十九號 大正十年二月二十六日

午後一時開議

第一 民事訴訟費用法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 刑事訴訟費用法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

大正八年年度豫備金支出ノ件

大正八年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正八年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

第十二 治安警察法中改正法律案(小山松壽君外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 治安警察法中改正法律案(押川方義君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 市町村教育費ノ整理ニ關スル建議案(井上角五郎君外十三名提出)

第十五 徵兵令事務施行細則改正ニ關スル建議案(植原悦二郎君提出)

第十六 産業組合法及重要物産同業組合法改正並同組合振興ニ關スル建議案(土井權大君提出)

第十七 成年調査ニ關スル建議案(奥村安太郎君外一名提出)

第十八 石油政策ニ對スル燃料調査會設立ニ關スル建議案(高野毅君提出)

第十九 特別市制促進ニ關スル建議案(作間耕逸君外五名提出)

第二十 多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(秋本喜七君外二名提出)

第二十一 多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(高木正年君外六名提出)

第二十二 免因差別待遇撤廢ニ關スル建議案(鮎川盛貞君提出)

第二十三 救世軍補助ニ關スル建議案(横山勝太郎君提出)

第二十四 科學知識普及ニ關スル建議案(鈴木錠藏君提出)

第二十五 遠美鐵道速成ニ關スル建議案(松浦五兵衛君外五名提出)

第二十六 大垣、大野、金澤間鐵道速成ニ關スル建議案(西村正則君外八名提出)

○議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

貯蓄銀行法案

銀行條例中改正法律案

公有水面埋立法案

(以上二月二十五日提出)

(以上二月二十六日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

穀物検査統一ニ關スル建議案

提出者 田中 萬逸君 齋藤宇一郎君

内藤 濱治君

平小名濱間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 白井 博之君 松本孫右衛門君

鐸木三郎兵衛君 八田 宗吉君

川口誠三郎君 石川 淳君

堀切善兵衛君

那賀川改修速成ニ關スル建議案

提出者 原田佐之治君 岡 順次君

海原 清平君 淺石 惠八君

決議案(齊藤總督ノ朝鮮統治ニ關スル件)

提出者 三木 武吉君

決議案(床次内務大臣不信任ノ件)

提出者 佐々木安五郎君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

大木司法大臣ノ言議ニ關スル質問主意書

提出者 小池 仁郎君 平出喜三郎君

淺川 浩君

一 昨二十五日內閣總理大臣ヨリ議長宛左ノ通發令ヲ

リタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

臨時米穀管理部署官 大塚 健治

農商務省所管事務政府委員被仰付

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲掲載ス)

一 昨二十五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案

戶符權之助君 宮古啓三郎君 遠藤 良吉君

澤 來太郎君 鈴木 巖君 川口誠三郎君

清 峯太郎君 日野 辰次君 長峰 與一君

三善 清之君 成田直一郎君 阿部武智雄君

樋口 秀雄君 中野 寅吉君 鴉澤 宇八君

小池 仁郎君 渡邊 昭君 長場龍太郎君

一 今二十六日大正五年法律第四號中改正法律案委

員門田新松君小泉策太郎君若尾瑋八君辭任ニ付

官報號外 大正十年二月二十七日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第二十號 議長ノ報告

四四九

其ノ補闕トシテ山口熊野君竹上藤次郎君佐々木平次郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ  
一今二十六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ  
國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案委員

委員長 戶狩權之助君 理事 日野辰次君  
樋口秀雄君  
渡邊昭君

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス、日程第一第三ハ同種ノ議案デアリマスカラ、一括議題ト致シマス、御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス

○山田永俊君 議長、々々

○議長(奥繁三郎君) 山田君、何デスカ

○山田永俊君 議事ノ進行ニ就テ發言ヲ致シタクウゴザイマス

○議長(奥繁三郎君) 發言ナサ

○山田永俊君 昨日：(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

〔山田永俊君登壇〕

○山田永俊君 昨日中野君ノ決議案ノ議事ニ際シマシテ、永井柳太郎君ガ質疑ガアルト云フコトデ、其時ニ議長ガ發言ヲ御許シニナリマシタ、其發案者デナイ朝鮮總督ニ向テ質疑ガアルト云フコトヲ言フニ、發言ヲ御許シニナラト云フコトハ、議院法或ハ議院規則ノ、ドウ云フ所ニ依リテ御許ニナラナイデアリマス、殊ニ其質疑ガ發案者ノ説明ノ直ク後デナイ既ニ討論ヲ終テ、討論終結ノ動議ノ出テ居ル際ニ御許ニナラト云フコトハ、私ニ了解ノ出來ナイ所デアリマス、ソレカラ第一ニハ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○山田永俊(續) 若シ朝鮮總督ニ質問スルナラバ、本員ハ之ヲ政府ニ質問スルモノト認メ、政府ニ質問スルモノナラバ、三十名以上ノ成規ノ賛成ヲ得テ質問スルノガ當然デアラウト思フ、其點ハドウ云フ御考デアリマス、ソレカラ尙ホ討論終結ノ動議ノ後ニ永井君ガ質問ニ名ヲ藉リテ、其演說ヲ聽キマス、ト質疑デハナイ、殆ド討論デアリマス、質疑ノ範圍ヲ超エテ居ルノデアリマス、其點ニ對シマシテ、議長ハ果シテハ質疑ト御認ニナラカドウ云フ御考デアリカ、其三點ヲ伺ヒマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……今山田君ノ御尋ニ一言致シマス、永井君ノ質疑ハ、質疑ノ範圍ヲ脱シテ議論ニ涉ラテ居ルト云フコトデスカ、議長モ議論ニ涉ラテ居ル處ガアルト思ヒマシタカラ、兩三回注意致シマシタ、是迄質疑ハ往々議

論ニ涉ル虞ガアリマスカラ、度々議長ハ諸君ニ注意シテ居リマス、是迄左様ナ事ハ已ムヲ得ズアリマシタ、ソレニ對シテ議長ハ出來ルダケ注意ヲ加ヘタ以上責任ナシト信ジマス、ソレカラ永井君ノ質疑ハ政府ニ對シテサレタノデ、自己ノ贊否ヲ決スル必要上、質疑ガアルト云フコトデアリマス、長ハ之ヲ許ス場合ニ於テ、永井君ヨリ斯様ナ通告ガアリマスカラ、之ヲ許シマス、許スガ當然デアリマス、議長ハ之ヲ許シマス、ト諸君ニ告ゲテ許シテ居リマス、其次ニ質疑ハ三十名ノ賛成ヲ要スルト云フノハ、質疑ハ質問ノ場合ト違ヒマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、日程第一、民事訴訟費用法中改正法律案、日程第三、刑事訴訟費用法案ヲ一括シテ議題ニ致シマス、第一讀會ヲ開キマス、大木司法大臣

第一 民事訴訟費用法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

民事訴訟費用法中改正法律案 第一讀會

第二條中「金二錢五厘」ヲ「五錢」ニ、「金十錢」ヲ「二十錢」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

司法代書人法第五條ノ規定ニ依リ地方裁判所長ノ定ムル所ニ從ヒテ司法代書人ニ支拂ヒタル金額カ前二項ニ定ムルモノト異ナルトキハ其額ニ依ル

第三條中「金五十錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第九條 當事者及證人ノ日當ハ出頭一度ニ付キ二圓以內ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル

第十條 削除

第十一條中「金五十錢乃至五圓」ヲ「二圓乃至十圓」ニ改ム

第十二條 當事者、證人、鑑定人及通事ノ止宿料ハ一日五圓以內ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル

第十三條第二項ヲ削リ同條第一項ヲ左ノ如ク改ム

當事者、證人、鑑定人及通事ノ旅費ハ鐵道又ハ汽船ヲ通スル水路ニ在リテハ二等以下ノ汽車賃又ハ船賃ニシテ裁判所ノ相當ト認ムルモノニ依リ汽船ヲ通セサル水路ニ在リテハ一海里毎ニ五錢其他ニ在リテハ一里毎ニ三十錢トス但一海里未滿又ハ一里未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第十四條中「滞在費」ヲ「止宿料」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前必要シタル費用ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第三 刑事訴訟費用法案(政府提出) 第一讀會

刑事訴訟費用法案 第一讀會

第一條 左ニ掲クルモノヲ以テ公訴ニ關スル訴訟費用トス

一 豫審又ハ公判ニ付呼出シタル證人、鑑定人及通事ニ給スヘキ日當、旅費及止宿料

二 第三條第二項ニ規定スル費用

第二條 證人ノ日當ハ出頭一度ニ付二圓以內ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

第三條 鑑定人及通事ノ日當ハ出頭一度ニ付二圓以上十圓以內ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

鑑定又ハ通譯ニ付特別ノ技能若ハ費用又ハ長時間ヲ要スルトキハ日當ノ外豫審判事、受託判事又ハ裁判所ノ相當ト認ムル金額ヲ給スルコトヲ得

第四條 證人、鑑定人及通事ノ旅費ハ鐵道又ハ汽船ヲ通スル水路ニ在リテハ二等以下ノ汽車賃又ハ船賃ニシテ豫審判事、受託判事又ハ裁判所ノ相當ト認ムルモノニ依リ汽船ヲ通セサル水路ニ在リテハ一海里毎ニ五錢其他ニ在リテハ一里毎ニ三十錢トス但シ一海里未滿又ハ一里未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第五條 證人、鑑定人及通事ノ止宿料ハ一日五圓以內ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

第六條 證人、鑑定人及通事ノ日當、旅費及止宿料ハ豫審ニ付テハ其ノ終結前公判ニ付テハ判決前ニ請求スルニ非サレハ之ヲ給セス

第七條 共犯人ヲシテ訴訟費用ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ連帶負擔トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

刑法施行法第六十二條乃至第六十七條ヲ削リ

陸軍刑法施行法第三十一條中「刑法施行法第六十三條乃至第六十六條ノ規定」ヲ「刑事訴訟費用法」ニ改ム

海軍刑法施行法第三十一條中「刑法施行法第六十三條乃至第六十六條ノ規定」ヲ「刑事訴訟費用法」ニ改ム

本法施行前必要シタル費用ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔國務大臣伯爵大木遠吉君登壇〕

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 唯今上程セラレマシタル所ノ兩法案ヲ一括シテ、其提案ノ趣旨ノ概要ヲ申上ゲマス、民事訴訟費用法ハ、明治二十三年ノ制定ニ係ラモノ

アリマス、刑事訴訟費用ニ係ル刑法施行令ノ規定ハ、明治四十一年ノ制定ニ係ラモノアリマス、此規定ニ依リマシテハ、即チ所定ノ費額アリマシテハ、現金ノ經濟狀態ニ適セザルモノガ多イト認メテ、アリマス、宜シク之ヲ増額致シマシテ、以テ訴訟關係人ヲシテ、其出費ヲ償フヲ得セシムルコトガ必要アリト認メテ、兩法案ヲ提案シテ次第アリマス、何卒御協賛アラシコトヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 右兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス

### 第二、第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 兩案ヲ一括シテ、大導寺慶男君提出民事訴訟法費用法中改正法律案外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕(贊成)「下呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕(下呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ、日程第五大正八年度豫備金支出ノ件外七件、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ニ致シマス、高橋大藏大

### 第五

大正八年度豫備金支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
大正八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)

### 〔國務大臣子爵高橋是清君登壇〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 只今上程ニナリマシタル事後案ニ關シマシテ、簡單ニ說明ヲ致シマス、大正八年度ニ於ケル一般會計及各特別會計ノ豫備金及豫備金外支出、大正三年臨時事件ノ豫備費及豫備費外支出、帝國鐵道會計積立金及積立金外支出ニ關スル事後承諾ヲ求ムル爲メニ、爰ニ本案ヲ提出致シタル次第デゴザイマス、大正八年度一般會計第一豫備金ノ豫算額ハ三百萬圓デアリマシテ、在外公館電信料、海港檢疫傳染病豫防檢疫諸費、稅關臨時勤勞手當、諸拂戻金、其他必要避クベカラザル豫算ノ不足ニ對シマシテ、其全部ヲ充用致シタルデゴザイマス、大正八年度一般會計第二豫備金ノ豫算額ハ五百萬圓デアリマシテ、各廳風水害及火災復舊費、輸入獸類檢疫上應急設備費、航空勤務遭難者保護賜金、其他緊急措キ難キ豫算外ノ支出ニ對シマシテ、之ガ全部ヲ充用致シタルデゴザイマス、大正八年度大正三年臨時事件豫備ノ豫算額ハ、一億七千二百萬圓デアリマシテ、臨時事件ニ關シテ各省所管ニ於テ、豫算外ニ支出スルコトヲ要シタル諸般ノ費途ニ對シマシテ、其全部ヲ充用致シマシテ、大正八年度一般會計第二豫備金、並ニ大正三年臨時事件豫備費ノ豫算額全部拂切リトナリマシタガ爲メ、警察費連帶支辨金、諸拂戻金、陸軍精米精麥及馬糧費、在監人費、染料及火藥爆發物製造獎勵金、各省臨時事件費、流行性感冒治療諸費、軍艦製造費補足、其他必要ナル費途ニ對シマシテ、國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外ノ支出ヲ爲シタル金額ハ、一億七千四百三十九萬餘圓デアリマス、大正八年度帝國鐵道會計積立金勘定ニ於ケル補填金ノ豫算額ハ、四百五十萬圓デアリマシテ、收益勘定ニ於ケル鐵道作業費豫算ノ不足ニ對シマシテ、之ガ全部ヲ充用致シマシタ、右ノ外尙ホ歲出豫算ノ不足スルモノアルガ爲メニ、收益勘定及資本勘定ニ就キマシテ、各、其歲入ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ致シタルデアリマシテ、收益勘定ニ於テハ二千八百四十七萬餘圓、資本勘定ニ於テハ千五百餘萬圓デアリマス、右ノ外各特別會計ニ在テモ、亦必要ニムラ得ザル費途ニ對シマシテ、豫備金又ハ豫備金外ニ其歲入若クハ剩餘金ヲ以テマシテ、豫算超過及豫算外ノ支出ヲ致シタルデアリマシテ、以上ハ何レモ緊急避クベカラザル事項ト認メマシテ、之ガ支出ヲ爲シタル次第デゴザイマス、御審議ノ上承諾ヲ與ヘラレンコトヲ切望致シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 日程第六右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題トシマス

### 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特二十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(贊成)「下呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕(下呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ、一寸御諮リヲ致シマス、島田俊雄君ヨリ、特許法外四件ノ委員會ヲ午後二時カラ開會致シタシトノ請求ガアリマス、會期三分ノ二ヲ經過シタルヲ以テ、先例ニ依リマシテ許可致ス考デアリマス、今後モ斯ウ取計ヲ考デアリマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕(下呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ只今宣告致シマシタ通り決シマス、日程第七、第八ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題ニ供シマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕(下呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第七、大正九年勅令第五百三十四號承諾ヲ求ムル件、日程第八、大正九年勅令第四百八十五號承諾ヲ求ムル件、右兩案ヲ一括シテ議題ニ供シマス委員長小田切磐太郎君

第七 大正九年勅令第五百三十四號(承諾ヲ求ムル件) (委員長報告)

第八 大正九年勅令第四百八十五號(承諾ヲ求ムル件) (貴族院送付(委員長報告))

報告書  
大正九年勅令第五百三十四號(承諾ヲ求ムル件)  
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也  
大正十年二月二十四日  
大正九年勅令第五百三十四號  
(承諾ヲ求ムル件)委員長  
衆議院議長奥繁三郎殿  
小田切磐太郎

報告書  
大正九年勅令第四百八十五號(承諾ヲ求ムル件)  
(貴族院送付)  
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

報告書  
大正九年勅令第四百八十五號(承諾ヲ求ムル件)  
(貴族院送付)  
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年二月二十四日

大正九年勅令第四百八十五號

(承諾ヲ求ムル件)委員長

小田切磐太郎

衆議院議長奥繁三郎殿

〔小田切磐太郎君登壇、拍手起ル〕

○小田切磐太郎君 只今議題ニナリマシタル大正九年勅令第四百八十五號承諾ヲ求ムル件、並ニ大正九年勅令第四百八十五號承諾ヲ求ムル件、委員會ノ經過並ニ結果ヲ報告致シマス、勅令第五百三十四號ハ、地地利國トノ平和條約實施ニ就キマシテ、我カ帝國政府ニ於テ管理致シマスル所ノ地地利國、並ニ地地利國人ノ財產ヲ以テマシテ、我カ帝國臣民ガ地地利國ニ其法人ニ對シテ有シマスル損害賠償ノ請求、並ニ其他ノ債權ノ支拂ニ充當スル必當ガアルノデゴザイマス、殊ニ我帝國臣民ノ財產回收ノ請求ニ就テハ、條約ニ依リテ一定ノ期限ガアルノデゴザイマスカラ、成ベク早く之ヲ請求スルト云フ必要ガアルノデゴザイマス、而シテ之ニ關スル規定ハ、竊ニ獨逸國トノ平和條約實施ノ際ニ公布セラレタル所ノ勅令第八十一號ヲ準用スル爲メニ、必要緊急已ムヲ得ナイモノトシテ發布セラレタ勅令デゴザイマス、勅令ノ内容ハ、損害賠償請求債權ノ申立等ノ期間ヲ定メ、其他調査ニ關スル簡易手續ノ事、管理財產ノ上ニ存スル特別ノ擔保處理ノ方法、其他財產回收ニ就テ必要ナル規定ヲ定メタルノデゴザイマシテ、此勅令ハ尙ホ將來ニ於テ效力ヲ存セシメル必要アリトシテ、本議會ニ承諾ヲ求メラレタノデゴザイマス、委員會ニ於テハ政府委員ノ説明ヲ聽イタ上ニ、多少ノ質問モアツタノデアリマス、ソレハ帝國政府ニ於テ管理スル財產ヲ以テ、果シテ帝國臣民ノ地地利國並ニ其法人ニ對スル損害賠償、又ハ其他ノ請求權ヲ満足セシムルコトガ出來ルヤ否ヤト云フ事デゴザイマシタガ、之ニ對シテハ政府委員ハ、満足セシムルコトガ出來ルト云フ答辯デアツタノデアリマス、其他ニ多クノ質問ガ無ク、全會一致承諾ヲ與フベキモノナリト議決ヲ致シタ次第デゴザイマス、次ニ勅令第四百八十五號デゴザイマス、此勅令ハ地地利國トノ平和條約實施ニ伴ヒマシテ、帝國ト地地利國トノ間ニ混合仲裁裁判所ヲ設置スル必要ガアルノデゴザイマス、此裁判所ヲ設置致シマスルト、其裁判所ノ爲シタル判定ノ效力及其裁判所ガ要求シマスル種々ノ法律上ノ補助ニ關シテ、我ガ帝國ニ於テ殊ニ規定ヲスルモノガアルノデゴザイマス、而シテ是等ノ事項ハ法律事項デゴザイマスガ、此事ハモウ竊ニ獨逸帝國トノ平和條約實施ノ時ニ、日獨混合仲裁裁判所ニ關シテ、勅令第八十七號ガ公布シテアルノデアリマス、此勅

令ヲ準用スル爲メニ、緊急必要ナリトシテ公布セラレタ所ノ勅令アルノデアリマシテ、是亦將來ニ其效力ヲ存セシムル必要ガアルノデゴザイマスカラ、本會議ニ其承諾ヲ求メラレタノデゴザイマス、委員會ニ於テハ何等ノ質問ナク、全會一致承諾ヲ與フベキモノナリト可決シタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 兩案一括シテ委員長報告通り、承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ此兩案ハ承諾ヲ與ヘルコトニ決シマシタ、日程第九水産會法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長松本孫右衛門君

第九 水産會法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 水産會法案(政府提出)  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年二月二十五日

水産會法案委員長  
松本孫右衛門

〔松本孫右衛門君登壇、拍手起ル〕

○松本孫右衛門君 只今議題トナリマシタ所ノ水産會法案ニ就テ、委員會ノ願末ヲ御報告致シマス、此法案ハ當業者ニ於テ多年希望シタルモノデアリマシテ、系統的ニ自治的ニ此水産會ヲ組織致シマシテ、官廳ノ施設ト相俟テ水産業ノ改良發達ヲ助長シタイト云フノガ此案ノ精神デアリマス、法案ノ組立及内容ハ農會法ト大體同様デアリマシテ唯々農會法ニ對シテ進歩シタト認メラレタ點ガ、一ツ許リアルノデアリマス、其一ツハ會費ヲ徵收スルノニ、行政處分ニ依リ強制徵收ヲ爲シ得ルコトガ其一ツデアリマス、第二ハ朝鮮、臺灣、樺太、關東州等ニ於ケル水産會ニ準ズル法人ヲモ、此會員ト爲スコトヲ得ルト云フコトガ第一ノ點デアリマス、委員會ハ三回程開會ヲ致シマシテ、政府當局ト質問應答ヲ重ネマシテ、滿場一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、唯々討論ノ際ニ、憲政會ノ議員君ヨリ希望ノ點ヲ申述ベラレ

テアリマス、其點ハ政府ニ於テ今後漁民救済ニ對シテ、適當ナル立法ヲシテ貫ヒタイ、斯ウ云フ希望ガアツタノデアリマス、此段モ併セテ御報告致シテ置キマス、何卒委員會決定通り、速ニ可決セラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 本案二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマヌ

〔第二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、第三讀會ヲ開クニ決シマス

○岩崎勳君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キマス

水産會法案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ政府提出貯蓄銀行法案、及政府提出銀行條例中改正法律案ヲ一括議題トシテ、其第一讀會ヲ開キ、政府ノ説明ヲ求メテ之ヲ審議シ、引續キ之ガ審査ヲ附託スベキ委員ノ選舉ヲ行ヒ、次ニ政府提出大正四年法律第十六號中改正法律案ヲ議題ト爲シ、次ニ政府提出大正九年法律第十二號中改正法律案、及政府提出明治四十年法律第二十一號中改正法律案ヲ一括議題ト爲シ、逐次其第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ動議ノ如ク變更スルコトニ決シマシタ、先ツ第一ニ貯蓄銀行法案、銀行條例中改正法律案ヲ一括シテ議題ニ致シマス、其第一讀會ヲ開キマス——大藏大臣

貯蓄銀行法案(政府提出)

第一讀會

貯蓄銀行法案

貯蓄銀行法

第一條 左ニ掲クル業務ヲ營ム者ハ之ヲ貯蓄銀行トス

一 複利ノ方法ニ依リ預金ヲ受入ルルコト

二 一回十圓未満ノ金額ヲ預金トシテ受入ルルコト

三 豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ受入ルルコト

四 期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

貯蓄銀行ニ非サルモノハ前項ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ貯蓄銀行ニ非サル銀行カ預金取引ヲ有スル者ヨリ其ノ者トノ取引ノ結果生シタル十圓未満ノ金額ヲ其ノ預金ニ受入レ又ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スヘキ預金取引ヲ有スル者ヨリ十圓未満ノ金額ヲ其ノ預金ニ受入ルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 貯蓄銀行業ハ主務大臣ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

前項ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ定款及業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ主務大臣ニ提出スヘシ

第三條 貯蓄銀行業ハ資本金五十萬圓以上ノ株式會社ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

第四條 貯蓄銀行ハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行ナル文字ヲ用ヰヘシ

貯蓄銀行ニ非サルモノハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 貯蓄銀行ハ第一條第一項ノ業務ノ外左ニ掲クル業務ヲ併セ營ムコトヲ得

一 定期預リ金

二 保護預リ

三 債權ノ取立

四 公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

五 公共團體又ハ產業組合ヨリノ要求拂預リ金

第六條 貯蓄銀行ハ本法ニ規定セザル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第七條 貯蓄銀行カ貯蓄銀行ノ營ムコトヲ得サル業務ニ屬スル契約ニ基テ權利義務ヲ合併ニ因リテ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨ケス

第八條 貯蓄銀行ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス第一條

第一項第一號第二號ノ預金取引ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 貯蓄銀行ハ第一條第一項及第五條第一號

第五號ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スヘシ但シ供託金額中

受入金額ノ四分ノ一ヲ超ユル額ニ付テハ第十一條第一項第一號ノ有價證券ヲ以テ國債ニ代フルコトヲ得

前項ノ受入金額ハ每半年末日現在ニ依リ之ヲ定ム

第十條 預金者及第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ハ其ノ預金及給付金ニ關シテハ前條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ニ付他ノ債權者ニ先テ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第十一條 貯蓄銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外其ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ス

一 國債、地方債、社債又ハ株式ノ應募ノ引受又ハ買入

二 國債其ノ他前號ニ掲クル有價證券ヲ質トスル貸付

三 不動産ヲ抵當トスル貸付

四 預金者ニ對シ其ノ預金額ヲ限度トスル貸付

五 第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ニ對シ其ノ給付金額ヲ限度トスル貸付

六 銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金

七 銀行引受手形ノ買入

前項ニ規定スル社債及株式ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 貯蓄銀行ノ所有シ又ハ貸付金若ハ預ケ金ノ擔保トシテ受入ルル株式、株式、該會社ノ總株式ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十三條 一人ニ對スル貸付金額ハ拂込資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十四條 第一條第一項第三號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ拂込資本金及準備金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ス

第十五條 第一條第五號ノ貸付金額中既ニ受入レタル金額ヲ超過スル額ニ付テハ確實ナル擔保又ハ保證アルコトヲ要ス

第十四條 一銀行ニ對スル預ケ金及其ノ銀行ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ハ第一條第一項及第五條第一號第五號ノ規定スル受入金ノ十分ノ一ヲ限度トシ且該銀行ノ拂込資本金及準備金ノ四分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス但シ其ノ總額中國債其ノ他第十一條第一項第一號ニ掲クル有價證券ヲ以テ擔保セラレタル額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條第二項ノ規定ハ前項ノ受入金ノ額ニ付テ之ヲ準用ス

第十五條 貯蓄銀行カ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ第一條第一項及第五條第一號第五號ノ規定ニ依ル契約ニ基テ銀行ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨償ノ責任ニ任ス

前項ノ責任ハ取締役ノ退任登記前ノ債務ニ付退任登記後二年間仍存續ス

第十六條 貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 定款ヲ變更セムトスルトキ

二 業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セムトスルトキ

三 代理店ヲ設置セムトスルトキ

主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十七條 貯蓄銀行ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十八條 主務大臣ノ免許ヲ受ケスシテ貯蓄銀行業ヲ營ミタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 左ノ場合ニ於テハ貯蓄銀行ノ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上十圓以下ノ過料ニ處ス

一 第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條及第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第十六條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

第二十條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十一條 本法ニ別段ノ規定ヲ設ケザル事項ニ付テハ銀行條例ニ依ル

銀行條例第二條ノ三ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ハ之ヲ預金者ト看做ス

第二十二條 貯蓄銀行業ヲ營ム者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ營業稅額ノ二分ノ一ヲ免除ス

附則

第二十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 貯蓄銀行條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ營業ノ認可ヲ受ケタル貯蓄銀行ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法ニ依リテ免許ヲ受ケタル貯蓄銀行ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル認可、處分其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

四五三

貯蓄銀行法案外一件 第一讀會

衆議院議事速記第二十二號

大正十年二月二十七日

官報號外

第二十五條 前條第二項ノ貯蓄銀行ノ資本金ニ付テハ本法施行後五年ヲ限リ仍舊法ニ依ル

第二十六條 第二十四條第二項ノ貯蓄銀行ニシテ現ニ其ノ商號中ニ貯蓄銀行又ハ貯蓄銀行ナル文字ヲ用ウルモノニ限リ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス仍其ノ商號ヲ用ウルコトヲ得

第二十七條 第二十四條第二項ノ貯蓄銀行カ第九條ノ規定ニ依リテ爲スヘキ供託ニ付テハ本法施行後二年ヲ限リ仍舊法ニ依ル但シ其ノ期間内ニ於テ新ニ供託ヲ爲ス場合ニ於テハ第一條第一項ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ四分ノ一迄ハ國債ニ限ル

第二十八條 本法施行前貯蓄銀行ノ爲シタル契約ニシテ本法ニ依リ貯蓄銀行ノ爲スコトヲ得サル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十九條 本法施行ノ際現ニ貯蓄銀行ノ所有スル公債ノ社債又ハ株式ニシテ第十一條第一項第一號ノ規定ニ依リ應募引受又ハ買入ヲ爲スコトヲ得サルモノハ本法施行後三年ヲ限リ仍之ヲ所有スルコトヲ得

第三十條 本法施行ノ際一銀行ニ對スル預金及第一項ノ規定ニ依ル限度ヲ超ユル場合ニ於テハ本法施行後二年内ニ之ヲ其ノ限度ニ適合セシムヘシ

第三十一條 貯蓄銀行ノ取締役ニシテ本法施行前退任シタル者ノ貯蓄銀行條例第三條ノ規定ニ依ル責任ニ付テハ仍舊法ニ依ル

第三十二條 本法施行前貯蓄銀行條例第一條ノ事業ヲ廢止シタル者ハ既ニ締結シタル契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ貯蓄銀行條例第三條乃至第六條ノ二及第九條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 本法施行ノ際貯蓄銀行ニ非スシテ現ニ大正四年法律第二十三號附則第四項ノ規定ニ依リ本法第一條第一項第三號第四號ノ業務ヲ繼續スル者ニ關シテハ仍舊法ニ依ル

銀行條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

銀行條例中改正法律案 銀行條例中左ノ通改正ス

第二條ノ五中「貯蓄銀行條例第一條ノ事業ヲ」貯蓄銀行法第一條第一項ノ業務ニ貯蓄銀行條例第三條乃至第六條ノ二及第九條ノ二ヲ貯蓄銀行法第九

條ノ第十條、第十五條及第十九條ニ同法第三條及第九條ノ二ヲ同法第十五條及第十九條ニ改ム

附則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前第二條ノ五ノ規定ニ依リ貯蓄銀行條例第一條ノ事業ニ屬スル契約ニ基ク權利義務ヲ承繼シタル銀行ニ關シテハ其ノ契約ノ屬スル事業ニ付仍從前ノ例ニ依ル

國務大臣(子爵高橋是清君) 只今上程ニナリマシタル兩案ニ對シテ說明ヲ致シマス、貯蓄銀行ハ零碎ナル資金ヲ確實ニ安全ニ保管蓄積シテ、國民ノ貯蓄ヲ獎勵スルコトヲ以テ其目的ト致スモノデゴザイマシテ、公益慈善ノ性質ヲ有シテ居テ、普通銀行ガ一般經濟界ニ於ケル金融ノ媒介乃至商工業資金ノ運用利殖ヲ任ト致スモノトハ、全ク其職能ヲ異ニ致シテ居ルデアリマス、故ニ其監督ニ就キマシテモ、普通ノ銀行ニ較ベマスレバ、嚴格周到ナルヲ要スル次第デアリマシテ、其業務範圍放資ノ方法等ニ關シテ、相當ノ制限ヲ設ケルノ必要ガ多クデアリマス、然ルニ現行貯蓄銀行條例ハ其制定後幾多ノ改正ヲ經マシテ、漸次其特色ヲ失フニ至リマシテ、現在ニ於テハ貯蓄銀行ハ、當然普通銀行ノ業務ヲ經營スルコトヲ得ルヤウニナリマシテ、其業務ノ範圍及資金運用ノ方法等ニ關シマシテ、何等ノ制限ガゴザイマセヌ、故ニ其受入レマシタル零碎貯蓄預金ハ、他ノ一般ノ商業資金ト何等ノ區別モナク、一樣ニ商工業者ノ資金ニ運用セラレテ、或ハ不確實ナル擔保ニ對シ、又ハ全ク無擔保ノ貸出ヲ無シ、甚シキハ一人ニ對シテ銀行ノ運命ヲ左右スル如キ多額ノ貸出ヲ爲シタリ、或ハ所謂親銀行ノ預金吸収機關トナリマシテ、其預金ノ殆ド全部ヲ親銀行ニ預入レテ、其親銀行ト運命ヲ共ニスルモノガ生ジタヤウナ譯デアリマシテ、是等ハ寔ニ遺憾トスル次第デアリマス、近時貯蓄銀行ノ取付ヤラ乃至破綻ノ多キハ、其原因固ヨリ一ニシテ足ラズト雖モ、是等ハ原因スルモノガ其多キヲ占メテ居ルデアリマス、是等ハ固ヨリ銀行業者ノ經營其宜シキヲ得ザルニ因ルモノデアリマス、又貯蓄銀行ニ關シマシタル銀行法規ノ上ニ於テ、缺陷ガアルモノニ基クノモ亦大ナルモノト信ズルデアリマス、仍テ今回貯蓄銀行條例ニ改正ヲ加ヘマシテ、業務ノ範圍ヲ限定致シ、資金運用ノ方法ヲ制限致シ、擔保供託ノ割合ヲ增加スル等、幾多ノ改善ヲ施シマシテ、零碎資金保管ノ機關ト致シ、能ク其職能ヲ發揮セシメント欲スルデアリマス、而シテ此改正條項ハ甚ダ多イデアリマスガ爲メニ、此際寧ろ貯蓄銀行條例ナルモノヲ廢シマシテ、新ニ貯蓄銀行法ヲ制定スルヲ便利ナリト認メマ

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

岩崎勳君 兩案ヲ一括シテ、委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指名アラント望ミマス

議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

議長(與繁三郎君) 異議ナシノ聲起ル

議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタリ、次ハ大正四年法律第十六號中改正法律案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長富安保太郎君

大正四年法律第十六號中改正法律案(政府提出) 府提出) 第一讀會ノ續(報告) (確定議)

報告書 大正四年法律第十六號中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年二月二十六日 大正四年法律第十六號 中改正法律案委員長 富安 保太郎

衆議院議長與繁三郎殿 (富安保太郎君登壇、拍手起ル)

○富安保太郎君 簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ハ西伯利其他ニ派遣サレタル軍人ニ對シテ、一時賜金ヲ交付スル案デゴザイマシテ、人員ニ於テハ二万七千八百六十人、金額ニ於テハ六百六十二万四千五百圓、之ヲ公債交付ニ致シマス爲メニ、大正四年ノ法律第十六號中ニ改正ヲ加ヘマシテ、一億八百万圓トアルノヲ七百万圓増シマシテ、一億千五百万圓ト改ムト云フ案件デゴザイマス、委員會ハ慎重審議ノ末、滿場一致ヲ以テ可決シマシタ、此段御報告申上ゲマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定アラント望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ  
○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ  
ヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシノ聲起ル  
○議長(與繁三郎君) 仍テ本案ハ委員長報告ノ通り可  
決確定致シマシタ、次ハ大正九年法律第十二號中改正法  
律案、明治四十年法律第二十一號中改正法律案ノ兩案  
ヲ一括シテ此第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長坂本素魯  
哉君

### 大正九年法律第十二號中改正法律案(政 府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)  
明治四十年法律第二十一號中改正法律案  
(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書  
一大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告  
候也

大正十年二月二十六日  
大正九年法律第十二號中  
改正法律案委員長  
坂本素魯哉

### 報告書

衆議院議長與繁三郎殿  
一明治四十年法律第二十一號中改正法律案(政府  
提出)  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告  
候也

大正十年二月二十六日  
明治四十年法律第二十一  
號中改正法律案委員長  
坂本素魯哉

衆議院議長與繁三郎殿

○坂本素魯哉君 大正九年法律第十二號中改正案ニ  
對シマシテ、委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、臺灣ニ於キ  
マシテハ、從來個人ノ所得ニ對シマシテハ課税ガ無カッタノ  
デアリマス、然ルニ本年ノ四月一日ヨリ、個人所得ニ對シマ  
シテ課税致シマスコトニ依ッテ、大正九年ノ法律第十二號  
ノ一部ヲ改正致シ、課税ノ重複ヲ避クルト云フノガ最大

官報號外

大正十年二月二十七日

衆議院議事速記録第二十號

大正九年法律第十二號中改正法律案外一件 第一讀會ノ續

大正九年法律第十二號中改正法律案外三件 第一讀會ノ續

ノ理由デアアルノデアリマス、サウシテ第二番目ニハ朝鮮、臺  
灣、關東州、樺太、又ハ内地ノ法人ノ合併ヲ爲シタル場合ニ  
於テ、合併ヲシタ方ニ課税スベキモノデアアルカ、被合併ヲシタ  
方ニ課税ヲスベキモノデアアルカト云フコトニ就キマシテ、之ヲ  
決定致シタノデアリマス、是ハ合併ヲシタ方ニ課税スベキモノ  
ト規定ヲ致シタノデアリマス、委員會ニ於キマシテ之ヲ正  
當ト認メタノデアリマス、併シ憲政會ノ鶴澤君ヨリ此改正ニ  
就キマシテ、政府當局者ニ斯ノ如キ質問ガアリマシタ、ソレ  
ハ第一ニ法人ノ所得ハ、臺灣ノ現狀ニ適シテ居ルヤ否ヤ、サ  
ウシテ課税ノ結果ハ、如何ナル所ノ收入ガアルヤ否ヤ、第三  
番ニハ思想上ニ影響ヲ及ボスコトガナイカト云フコトデア  
タノデアリマス、之ニ對シマシテ政府委員ハ答辯シテ曰ク、  
思想上ニハ何等ノ影響ナク、又臺灣ノ民度ニ於テモ差支ハ  
無イ、而シテ又課税ハ約ソ二百五十万圓ノ豫定デアアルト云  
フ答辯デアッタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ二回ノ  
開會ニ依リマシテ、本案ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレタ  
デアリマス、サウシテ明治四十年法律第二十一號中改正  
案、是ハ樺太ニ於キマシテ、市街宅地稅ヲ收入増加ノ目的  
ヲ以テ新タニ起シタノト、又從來直接國稅デアリシ所ノ警  
油稅ト酒造稅ヲ、間接國稅ノ中ニ編入ヲ致シタノデアリマ  
スガ、是ハ脱稅ヲ取締ル上ニ於テ最モ必要ナリト云フコトデ  
アリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、兩案共滿場一致ヲ以テ  
可決致シマシタニ就キマシテ、諸君ニ於キマシテモ御賛成ア  
ランコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ  
御諮リ申シマス  
〔第二讀會ヲ開クニ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナイト認  
メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 兩案ヲ一括シテ直チニ其第二讀會ヲ開キ、  
第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレ  
ンコトヲ望ミマス

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ  
カ  
〔異議ナシ〕異議ナシノ聲起ル

○議長(與繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ右兩  
案ノ第二讀會ヲ開キマス

### 大正九年法律第十二號中改正法律案 第二讀會(確定議) 明治四十年法律第二十一號中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕異議ナシノ聲起ル  
○議長(與繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ此兩  
案ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ、日程第十乃至  
第十三ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シ  
テ議題ニ供シマス——御異議ナイト認メマス、仍テ日程第十  
乃至第十三ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長  
宮古啓三郎君

### 第十 治安警察法中改正法律案(濱田國 松君外一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)  
第十 治安警察法中改正法律案(濱田國松君外一名提出)

第十一 治安警察法中改正法律案(一宮  
房治郎君外一名提出)

第十二 治安警察法中改正法律案(小  
山松壽君外三名提出)

第十三 治安警察法中改正法律案(押川  
方義君外二名提出)

報告書  
一治安警察法中改正法律案(濱田國松君外一名提  
出)  
一治安警察法中改正法律案(一宮房治郎君外一名提  
出)  
一治安警察法中改正法律案(小山松壽君外三名提  
出)  
一治安警察法中改正法律案(押川方義君外二名提  
出)

右ハ本院ニ於テ四案ヲ併合シ別紙ノ通修正スヘキモノ  
ト議決致候此段及報告候也  
大正十年二月二十三日  
治安警察法中改正法律案外三件委員長  
宮古啓三郎

衆議院議長與繁三郎殿

治安警察法中左ノ通改正ス  
第五條第二項中「女子及」ヲ削ル  
第二十三條第二十四條第二十六條第二十七條第二  
十八條及第二十九條中「輕禁錮」ヲ「禁錮」ニ改ム

第三十條及第三十一條中「重禁錮」ヲ「懲役」ニ改ム  
〔宮古啓三郎君登壇、拍手起ル〕

○宮古啓三郎君 治安警察法中改正法律案ノ經過ト結  
果ヲ御報告致シマス、治安警察法中改正法律案ト云フノ  
ハ四ツ出テ居ルノデアリマス、即チ濱田國松君外一名提案  
ノモノ、假リニ是ハ國民黨案ト申シマス、ソレカラ次ニハ一  
官房治郎君外一名ノ御提案ガアリマシテ、是ハ假リニ政友  
會案ト申シマス、ソレカラ次ニハ小山松壽君外三名ヨリ御  
提出ニナテ居ルノデアリマシテ、假リニ之ヲ憲政會案ト  
稱シマス、終リニモウ一ツハ押川方義君外二名ヨリ御提案  
ニ相成テ居ルノデアリマシテ、假リニ之ヲ無所屬案ト稱シ  
マス、以上ノ四案ガ委員會ニ御付託ニ相成タノデアリマス、  
此四案ノ中デ共通ナルモノガ一點ゴザイマス、ソレハ治安警  
察法中ノ第五條ノ中デ第二項ノ「女子及」ト云フ三字ヲ  
削ル、此點ダケガ各案ニ共通ニ相成テ居ルノデアリマス、委員  
會ニ於キマシテハ小委員會ヲ拵ヘマシテ、此四案ニ就キマシ  
テ一ツノ修正案ヲ拵ヘタノデアリマス、其修正案ガ委員總  
會ノ是認スル所ト相成リマシテ可決ニナタノガ、即チ御手  
許ニ廻テ居リマス報告書ニ記載ノ方ガ即チ是デアリマス、  
其修正案ナルモノハ、第五條第二項中ノ「女子及」ト云フ  
文字ヲ削リマス、ソレカラ治安警察法中ニ「輕禁錮」ト  
云フコトヲ書イテアリマス、單ニ「禁錮」ト改メ、ソレカ  
ラ又「重禁錮」ト書イテアリマス分ハ之ヲ「懲役」ト改メ、是  
ダケノ修正デアリマス、此委員會ニ於キマシテ斯様ニ修正ヲ  
致シマシテ理由ヲ申上ゲマス、即チ今日迄ハ治安警察  
法ノ第五條ノ第二項ナルモノガゴザイマシテ、女子ニ對シマ  
シテハ、公衆ヲ會同スル政談集會ニ會同シ、若ハ其發起人  
タルコトヲ得スト云フコトニ規定シテアリマシタノ、之ヲ解  
放致シマシテ、女子ハ公衆ヲ會同スル所ノ政談集會ニ會同  
スルコトハ差支ガ無イ、又其發起人タルコトモ差支ガ無イ、  
斯様ニ致ス次第デアリマス、此詳細ナル理由ニ至テハ、豫  
テ各案ニ就キマシテ、各提案ノ趣旨ヲ此演壇ニ於テ御述  
ニナテ居リマスカラシテ、諸君ニ於テ既ニ御承知ノ事デアリ  
マスカラ、私カラハ是ハ繰返シハ致シマセヌ、要スル所ハ今日  
女子ノ教育ガ大ニ進歩發達ヲ致シマシテ、男子ト敢テ大ナ  
ル差異ハ無イヤウニ立至タノデアリ、隨テ又女子ニ對シマ  
シテモ、政治上ノ了解ヲ得セシムルコトニ云フコトハ、立憲治下  
ノ國民トシテ必要デアアル、斯様ナ趣旨カラシテ、此「女子及」  
ト云フ文字ヲ削リ、女子ニ對シテ解放ヲシヤウト云フ趣旨  
デアアルノデアリマス、即チ此解禁ト申シマスモノハ、女子ニ  
對シマスル政治的ノ一進歩ナリト云フコトハ、明カニ申スコ  
トハ出來ルノデアリマシテ、總テ是ガ女子ニ對シテ參政權

ヲ認メマスル所ノ、出發點ト相成ルモノト考ヘルノデアリマ  
ス、斯様ナ次第委員會ニ於キマシテハ、各案ニ共通デアリ  
マスル所ノ此點ヲ採リマシテ、只今申シタヤウナ修正案ヲ作  
リマシタ次第デアアルノデアリマス、此以外ニ於キマシテハ委員  
會ニ於テハ、皆ナ之ヲ否定致シマシタ次第デアリマス、  
其否定ヲ致シマシテ理由ノ大要ヲ是カラ申上ゲタイト思ヒ  
マス、治安警察法中ノ第五條第一項ノ第五號「女子」ト云  
フ文字ガアリマス、ソレヲ削リ、即チ女子ニ對シマシテ、政治  
上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ルト云フコトニ致シタイト云フ  
ノガ、無所屬案ト國民黨案デアリマス、此點ニ就キマシテ委  
員會ニ於キマシテハ之ヲ是認シナイ、是認シマセヌ理由ト云  
フモノハ、成程先刻申シマシタ通り、女子ノ教育ト云フモノ  
ガ、今日大ニ進歩發達ヲ致シマシテ居ルニハ相違ナイ、併ナ  
ガラ未ダ男子ト同一ノ取扱ヲ受クベキマデニハ進歩シテ居  
ルトハ認メルコトガ出來ナイ、加之女子ニ對シテハ、亦女子  
ノ本分ガソレノアルノデアリ、良妻賢母ト致シマシテ家事  
ヲ料理シテ男子ヲシテ後顧ノ憂ナカラシムベキ天職ト云フモ  
ノガ女子ニハアルノデアリマス、徒ニ男子ト變ヲ列ベテ政治  
上ニ狂奔スルト云フコトハ、國家ノ幸福デモナイ、又一家  
ノ利益ナリトモ認メルコトガ出來ヌノデアリ、(拍手)倫敦ニ  
於キマシテ先年「バンカース」ト云フ婦人ガ多數ノ者ヲ引連レ  
マシテ、市中ノ各人家ノ硝子ヲ壊シ、アッタト云フコトヲ  
私ハ現ニ目撃ヲ致シテ居リマス、斯様ナ行動ヲ婦女女子ガ  
執ルト云フコトハ、寔ニ苦シク感ズルノデアリマシテ、斯  
様ナ事ハ成テケ女子ニサセナイヤウニシタイト云フノガ、即チ  
希望デアリマス、隨テ女子ガ今日政治上ノ結社ニ加入ス  
ルト云フコトハ、マダ其時期デハナカラウ、斯様ニ考ヘルノデ  
アリマシテ、ソレガ爲メニ女子ガ政治上ノ結社ニ加入スル  
コトヲ許シヤウニシタイト云フ此無所屬案、並ニ國民黨ノ案ニ  
トテ許スヤウニシタイト云フ此無所屬案、並ニ國民黨ノ案ニ  
ハ、委員會ハ賛成ヲ致サナカッタノデアリマス、其次ニハ第五  
條中ノ第一項ノ第三號第四號ヲ削リタイト云フノガ、國民  
黨ノ案デアリマス、第五條第一項ノ第三號ト云フノハ、何デ  
アルカト申シマス、神官、神職、僧侶、其他諸宗教師、是等  
ノ者ニ對シマシテ、政治上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ナイト  
ナテ居リマス、之ヲ得ルコトニ致シタイト云フノ案デア  
ルノデアリマス、之ニ對シマシテ委員會ニ於キマシテハ、反對  
ヲ致シタノデアリ、其反對ヲ致シタル理由ハ、神官、神職、僧  
侶、其他諸宗教師即チ宗教家デゴザイマス、此宗教家ニ於  
キマシテハ、ソレノ宗教家ノ職分ト云フモノガゴザイマスル  
コトハ申スマデモナイ、而シテ宗教家ナルモノハ、政治上ノ上ニ  
超然タルベキ地位ニ居ラネバナラヌモノデアラウト考ヘルノ  
デアリマス、(拍手起ル)徒ラニ俗界ニ入テ政治ノ上ニ狂奔

ヲスルト云フガ如キ事ハ、是亦採ラザル所デアルト思フノデ  
アリマス、ソレデアリマスカラ、斯ノ如キ宗教家ガ政治上ノ結  
社ニ加入シテ政治ニ狂奔スルト云フコトハ、今日其時機ニ  
非ズ、斯様ニ考ヘマシテ反對致シマシタノデアリマス、ソレカ  
ラ第四號ノ方ハ官立、公立、私立學校ノ教員、學生、生徒、  
是等ノ者ニ對シテ、今日ノ治安警察法ハ政治上ノ結社  
ヲ許シテ居ラスノデアリマス、國民黨ノ案ハ之ヲ許スコ  
トニ致シタイト云フノ趣意デアリマス、之ニ對シマシテモ  
委員會ハ反對ヲ致シタノデアリ、其反對ヲ致シマスル  
理由ハ、是ハ教員ト、學生、生徒ノ關係デアリマス、教員ハ  
ソレノ教育ニ熱心スベキモノデアテ、學生生徒ヲ教養ス  
ベキ所ノ地位ニ居ルモノデアアル、若シ是等ノ者ガ政治ニ狂奔ス  
ルト云フコトニ相成リマスレバ、其教育ヲ怠ルノ虞ガゴザイ  
マス、ソレカラ又學生生徒ニ於キマシテハ、學業ニ熱心スベ  
キモノデアアル所ヲ、政治上ニ狂奔スルヲ呼フ者アリ、狂奔スル  
ト云フコトニ(笑聲起ル)相成リマス、又學生トシテ  
ノ本分ヲ怠ルコトニ相成リマス、學業ヲ怠ルト云フ虞ガゴザ  
イマス、即チ狂奔スルコトニ相成ルノデアリマス、斯ノ  
如キ事ハ矢張他ノ適當ナル人ニ委セテ置イテ、教員ハ教育  
ニ熱心シ、學生生徒ハ學業ニ熱心スルト云フノガ、矢張是レ  
國家ノ爲メニ幸福デアラウト考ヘルノデアリマシテ、此點ニ於  
キマシテモ委員會ハ、之ニ賛成ヲ致サナカッタ次第デアアルノデ  
アリマス、其次ニハ治安警察法ノ第十七條ノ問題デアリマ  
ス、是ハ本修正案ニ於キマシテハ、一番ノ大問題トナタモノ  
デアリマス、今日マデニモ度々議論ガ世間ニ八釜シカッタ所  
ノモノデアリマス、其十七條ニハドウ書イテアルカト申シマス  
ト云フコト、即チ資本家ト労働者トノ關係デアリマシテ、第  
十七條ハ斯様ニ相成テ居リマス、左ノ各號ノ目的ヲ以テ  
他人ニ對シテ暴行脅迫シ若ハ公然非毀シ又ハ第二號ノ目  
的ヲ以テ他人ヲ誘惑若ハ煽動スルコトヲ得ヌ、一勞務ノ條  
件又ハ報酬ニ關シテ協同ノ行動ヲ爲スヘキ團結ニ加入セシ  
メ又ハ其加入ヲ妨グルコト、二同盟解雇若ハ同盟罷業ヲ遂  
行スルカ爲使用者ヲシテ勞務者ヲ解雇セシメ若ハ勞務ニ從  
事スルカ爲拒絶セシメ又ハ勞務者ヲシテ勞務ヲ停廢セ  
シメ若ハ勞務者トシテ雇傭スルノ申込ヲ拒絶セシムルコト、  
三勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シテ相手方ノ承諾ヲ強ユルコト、  
斯様ニ書イテアルノデアリマス、憲政會ノ案ハ此全部ヲ削  
除シタイト云フノデアリマス、憲政會ノ案ハ之ヲ全部削除ス  
ルコトハ致シマセヌ、第十七條第一項中ノ「又ハ第二號ノ  
目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若ハ煽動スルコトヲ得ヌ」ト云フ此  
點ダケヲ除カウト云フノデアリマス、デ此點ニ就キマシテ、政  
府委員ニ對シマシテ種々質問ヲ致シ、而シテ小山松壽君ヨ

リシテ熱心ニ政府ノ回答ヲ求メマシテ、ソレニ對スル政府ハ答辯ヲ致シマシテ、結局自説ヲ主張セントコトニ相成リテアリマス、ソレハ此第十七條ノ第一項ノ「誘惑煽動」ト云フ文字ノ意義ハ、一體ドウ云フ意義アルカ、政府ノ解スル所ハ如何ニ見テ居ルノデアルカ、斯様ニ申サレマシテ、ソレニ對シテ政府委員ノ答ハ、此「誘惑煽動」ト云フコトハ、不當ニ資本家ノ同盟若ハ労働者ノ同盟ヲ爲ス場合ノコトヲ指スノデアラフテ、正當ニ労働者ガ同盟若ハ資本家ガ同盟ヲ爲スルコトニ云フヤウナモノヲ含ムモノデハナイノデアアル、畢竟不法性ヲ含ムモノニ非ラズンバ、制裁ヲ與ヘルト云フ次第デハナイノデアアル、今日ニ於キマシテモ、矢張不法性デナイ限りハ之ヲ許シテ、決シテ之ニ關シテ容レナイノデアアル、斯様ニ辯解ヲサレタノデアリマス、勿論小山君等ノ心配スル所ハ、今日労働者ノ權利ガ益、進デテ居ルノデアリマスカラシテ、其労働者ニ自由ヲ與ヘタイト云フ御趣意デアラフテ、之ヲ不法ニ同盟ヲスル場合ニデモ、許シテヤラウト云フノ御趣意デハナイヤウデゴザイマシテ、畢竟政府ガ左様ニ解釋ヲスル以上ハ、其解釋ニ就キマシテハ、満足ヲサレタノデアリマス、而シテ尙ホ政府ノ方デ是カラ後チ労働組合法、ソレカラ労働争議法ト云フヤウナモノヲ拵ヘルト云フヤウナ意思ノアルコトヲ確メマシテ、其労働組合法若ハ労働争議法ト云フヤウナモノガ出レバ、隨テ此第十七條ノ第一項ニアル、「誘惑又ハ煽動」ト云フヤウナ文字ノ解釋モ明カニナルコトデアラフテ、自然ニ解決ガ著クコトデアアル、斯様ニ信ジテ政府ノ言フ所ニ信賴ヲシテ、自説ヲ主張セヌコトニ致シテ、小委員會會決定シマシタモノ、即チ御手許ニ廻テ居ル所ノ修正案ニ同意アルマシテ、斯様ノコトニ言明ヲ致サレタノデアリマス、然ルレトシテ、殘ル所ハ國民黨案デデアリマス、此國民黨ノ案ニ於キマシテハ、十七條ノ全部ヲ削除スルト云フコトハ、依然トシテ維持サレテ居ルノデアリマス、然ルレトシテ、十七條ト云フモノヲ全然削除スルト云フコトガ、善イカ悪イカト云フ問題ニ相成リマス、スルト云フコト、今日ノ場合ニ於テ之ヲ削除スルト云フコトニ致シマシレバ、到底共同ノ安寧秩序ヲ維持スルト云フコトハ出来ナイト云フコトハ、政府ニ於テ言明スル所デアリマス、(一ノウ)ト呼フ者アリ第十七條ノ第一項ニハ「暴行脅迫シ若ハ公然誹毀シ」云々ト云フコトガアルノデアリマシテ、斯様ニ三ツ掲ケテアル、即チ資本家ノ同盟若ハ労働者ノ同盟、若ハ資本家ノ方ノ時間ノ關係、負債ノ關係、是等ノ爲メニ團體ヲ作ルトカ、若ハ承諾ヲ強ユルトス云フヤウナコトノ爲メニ、暴行、脅迫、誹毀、斯様ナコトヲ致シテ宜イト云フ理窟ハ、到底是ハ解スルコトハ出来ナイノデアアル、而シテ勿論是ガ他ノ法律ニ於テ、十分ニ取締ノ出来ルモノデアアルト

云フコトガアレバ、格別デアルケレドモ、斯様ナコトハ到底出来ナイ、刑法ニ於テ是ガ規定ガアルト云フコトヲ板野君カラシテ頻リニ御述ニナタノデアリマス、此刑法ニアリマス、ハ是ハ報告罪ニナテ居リマス、所ノモノガ、即チ此暴行、誹毀是等ノモノデアリマシテ、報告罪ニ相成テ居リマス、モハ、報告罪ヲ待タヌケレバ、之ヲ制裁スルコトハ、出来ナイノデアアル、而シテ本件ノ如キ場合ニ於テハ報告ハ容易ニシナイカラ、報告ヲ待テ取締ルト云フコトハ、到底取締ガ付カヌコトニ相成ルノデアアル、況ヤ又脅迫ト云フヤウナコトニ就キマシテハ、勿論之ガ取締ヲ容易ニスルコト云フコトハ出来ナイノデアアル、ソレデゴザイマス、カシテ今日ノ場合ニ於テハ、之ヲ全然撤廢スルト云フコトハ、到底承諾スルコトガ出来ヌト云フコトハ、政府ノ意見デゴザイマシテ、委員ニ於キマシテモ、此政府ノ意見ヲ是ナリト信ジマシテ、國民黨ノ案ニ賛成ヲシナカ、タ次第デアアルノデアリマス、茲ニ一言附加ヘテ申上ゲマス所ハ、委員中カラシテ、速ニ労働組合法若ハ労働争議法ノ提案ヲ、政府ヨリシテスルヤウニ希望スルト云フコトノ希望ガ出テ居リマス、此希望ニ對シマシテハ、政府ニ於テ労働組合法ハ、目下産業調査會ニ於テ立案中デアアル、斯様ニ言明ヲ致サレタノデアリマス、斯ノ如キ次第デゴザイマシテ、此治安警察法ノ第十七條ノ削除ト云フコトハ、委員會ハ賛成ヲ致シマセヌノデ、遂ニ此點ハ否決ニ相成リタ次第デゴザイマス、其次ノ國民黨案ニアリマス、モハ主ナルモノデケラ申上ゲマス、第八條ノ改正、第八條ノ改正ト申シマス、ト云フ第八條ニハ「安寧秩序ヲ保持スル爲メ必要ナル場合ニ於テハ警察官ハ屋外ノ集會又ハ多衆ノ運動若ハ群集ヲ制限禁止若ハ解散シ又ハ屋内ノ集會ヲ解散スルコトヲ得」斯様ニ規定ニ相成リテ居ルノデアリマス、之ヲ國民黨案ニ於キマシテハ、屋外ノ集會又ハ多衆ノ運動若クハ群集ニシテ安寧秩序ヲ紊シタル場合ニ於テハ警察官ハ集會若ハ群集ヲ解散シ又ハ運動ヲ制限スルコトヲ得」ト云フコトニ修正ヲ致シタイト云フノデアリマス、之ヲ擄擄シテ申シマス、ト云フ第八條ニ於テハ安寧秩序ヲ保持スル爲メ必要ナル場合ニ於テハ、警察官ガ如キ事ヲスルト云フコトニ書イテアル所ヲ、國民黨案ニ於キマシテハ、安寧秩序ヲ紊シタル場合ニ於テハ、警察官ガ如キ事ヲスルト云フコトニ改メタイト云フノデアリマス、即チ安寧秩序ヲ紊シタル場合デナケレバ、警察官ガ解散若ハ制限ト云フヤウナコトハセヌヤウニシタイト云フノガ、國民黨案ノ趣意デゴザイマス、之ニ對シマシテ政府ノ意圖モ確メタノデゴザイマス、安寧秩序ヲ紊シテシマシテカ、制限若ハ解散ヲスルト云フノデハ、モウ連モ間ニ合ハナイ譯デアアル、最初ニ於テ安寧秩序

ヲ紊スルノ場合、即チ安寧秩序ヲ保持スル爲メ必要ナル場合ニ於テ解散スル、若ハ制限ヲスルト云フヤウナコトニシナケレバ、到底取締ハ付カナイト云フコトニ申サレタノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ、矢張其方ガ至當デアルト云フコトニ考ヘマシテ、此國民黨案ニ賛成ヲ致サナカ、タ次第デゴザイマス、モウ一箇條ハ第十條デゴザイマス、此第十條ハ斯様ニ治安警察法ニハ書イテアル「集會ニ於ケル講談論議ニシテ前條ノ規定ニ違背シ其ノ他安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムル場合ニ於テハ警察官ハ其ノ人ノ講談論議ヲ中止スルコトヲ得」斯様ニ書イテアル所ヲ國民黨案ニ於キマシテハ、安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルト云フコトヲ創シマシタイト云フノデアリマス、之ヲ言換ヘマスルト云フト、安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞ガアツテモ、警察官ハ其ノ人ノ講談論議ヲ中止スルコトガ出来ナイト云フコトニシタイト云フノデアリマス、安寧秩序ヲ紊シ、又ハ風俗ヲ害スルノ虞アル場合ニ、警察官ガ之ニ干渉ガ出来ヌト云フコトデゴザイマシテハ、又公共ノ安寧秩序ヲ維持スルコトガ出来ナイコトニ相成リマス、カシテ、左様ニ修正ニ同意スルコトハ、出来ナイト云フノガ政府委員ノ意見デアリマシテ、又委員會ニ於テモ其政府委員ノ意見ト同一ノ意見ヲ以チマシテ、此修正案ニハ賛成スルコトガ出来ナイ、斯様ニ相成リタノデアリマス、其他細カシイ點ハ幾ツモゴザイマス、ケレドモ、其細カシイ點ニ就キマシテハ、ドウソ速記課ニ就テ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、故ニ他ノ部分ハ何レモ委員會ニ於テ反對ヲ致シマシテ、御手許ニアリマス、修正案ニ止メタノデアリマス、終リニ一言申上ゲマス、國民黨案、憲政會案、及無所屬案、何レモ言論集會結社ノ自由ヲ得セシメタイト云フノ御趣意デゴザイマシテ、此御趣意ニ對シテハ、吾々滿幅ノ同意ヲ致スモノデゴザイマス、是等ニ對シテ少シモ異論ヲ挿ムモノデハナイノデアリマス、併ナガラ公共ノ安寧秩序ヲ維持シナケレバナラヌ、公共ノ安寧秩序ヲ維持シテ、而シテ國家ノ安寧ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトハ、又同時ニ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、次第デゴザイマス、ソレデゴザイマス、カラシテ、公共ノ安寧秩序ノ維持ガ出来ナクテモ、構ハナイ自由ヲ得セシメタイト云フコトハ、是ハ何人ト雖モ出来ル譯デハナイノデアリマス、左様ニ譯デゴザイマス、カラシテ、此精神ニハ洵ニ異存無イ所デゴザイマス、ケレドモ、今日ノ場合ニ於テ、今日ノ程度ニ於テ此御趣意ノヤウニ致スコトニ相成リマス、到底公共ノ安寧秩序ヲ維持スルコトガ出来ズ、隨テ國家ノ安寧ヲ圖ルコトガ出来ナイト云フコトデ、吾々ハ洵ニ遺憾デアリマス、ケレドモ此案ニ反對ヲ致シマシテ、委員會修正ノ通り決定致シマシタ

第ゴザイマスルカラシテ、此段諒トセラレンコトヲ望ミマス、  
（拍手起ル）

○三木武吉君 議長

○議長（與繁三郎君） 三木君、何デスカ

○三木武吉君 宮古君ノ只今ノ御報告ニ就テ、一言簡單  
ニ御尋フ致シテ置キタイト思ヒマス

○議長（與繁三郎君） 宜シウゴザイマス

○三木武吉君 只今宮古君ガ御報告ニナリマシタ事柄ノ  
中ニ、女子ニ結社ノ自由ヲ與ヘナイト云フコトニ、委員會ガ御  
決定ニナリ、其理由ト致シマシテ、日本婦人ハ良妻賢母ト  
云フ特殊ノ天職ヲ持テ居ルノデアル、此良妻賢母タルベ  
キ日本婦人カ、濫リニ政治ニ狂奔スルト云フヤウナ事ガア  
テハナラヌカラ、結社ノ自由ハ認メナイノデアルト云フコトヲ  
御報告ニナリ、ヤウゴザイマス、私共ヲ以テ見マスルト云フ  
ト、若シ此委員長ノ御報告ノ通りデアルト致シマスルナラバ  
日本婦人ハ永久ニ結社ノ自由ヲ得ルコトガ出来ナイト云  
フコトニナルノデアリマス（拍手起ル）何トナレバ日本婦人ハ  
如何ニ世ノ中ガ進歩ヲ致シマシテモ良妻賢母アリ、賢母デア  
ルト云フコトヲ、否認セラル、時代ハ斷ジテ無イト思フ（拍手  
起ル）サウシテ見マスル、良妻賢母ト云フ天職ヲ持タシテ  
居ル、日本婦人——良妻賢母タルベキ日本婦人ハ結社ノ自  
由ヲ得ラレナイ、選舉權モ得ラレナイト云フ結論ニナルノデ  
アリマスカラ、（拍手起ル）羊頭ト呼フ者アリ、私ハ此點ニ就  
テ十分ナル委員長ノ御辯明ヲ求メタイ、何故ナラバ私共ノ  
同志ハ、現ニ普通選舉權ノ獲得ト云フ事ニ就テ努力ヲ致シ  
テ居ル、總テハ婦人ニ選舉權ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ主  
張ヲ爲スベキ時機モ、近キ將來ニアルト信ジテ居リマス、頑  
冥度シ難キ原總理大臣ト雖モ、（失敬ナコトヲ言フナ）ト呼  
フ者アリ）遠カラズ女子ニ選舉權ヲ與ヘル時機ガアルト云フ  
コトノ御言明マデモナサレテ居ル、此頑冥ナル原總理大臣ヲ  
賢明ナル宰相トシテ、其指揮ニ甘ンゼラレテ居ル政友會ノ  
諸君ト雖モ、ヨモヤ將來婦人ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ  
就テ、永劫未代反對ヲナサルト云フ勇氣ハアルマイト私ハ思  
ヒマス、（拍手起ル）現ニ只今モ委員長ガ御報告ニナリ、中  
婦人ニ對シテ政談演說會ニ出入スルコトヲ許スノ法律ヲ認  
メルト云フガ如キハ、總テハ婦人ニ選舉權ヲ與ヘ、總テハ婦  
人ニ結社ノ自由ヲ與ヘルト云フ、一ノ前提ト看ナケレバナ  
ラヌノデアリマス、然ルニ一方ニ於テハ斯ノ如キ前提ノ立法  
ヲ爲スニ拘ラズ、一方ニ於テハ結社ノ自由ヲ認メザル理由  
トシテ、婦人ハ良妻賢母デアラネバナラヌト云フコトヲ理由  
ト致シテ、永劫未代婦人ニ政治上ノ行動ヲ許サザルガ如キ  
理由ヲ述ベラレルト云フコトハ、其理由其立法ニ於テ、大ナル

矛盾ガアルト私ハ信ジマス、斯ノ如キ時代錯誤ノ暴論ガ委  
員會ニ於テ委員ノ何人カラカ發言セラレタノデアルカ、或ハ  
宮古君一個ノ見解トシテ、委員長ノ報告ニ名ヲ藉リテ此時  
代錯誤ノ御迷論ヲ爲サレタノデアルカ、御尋フシテ置ク必  
要ガアルト思フノデアリマス

○宮古啓三郎君 只今三木君カラ質問ガゴザイマシタ、其  
質問ノ趣意ハ、女子ニ對シテ結社ノ自由ヲ與ヘナイト云フ  
ガ如キ、口吻ノヤウニ拜聽致シマシタガ、甚ダ奇怪ニ感ジマ  
ス（ノウウ）ト呼フ者アリ、何トナレバ憲政會案ノ中ニハ、  
女子ノ結社ヲ許スト云フ案ハ出テ居ラヌノデアリマス、憲政  
會案ハ女子ノ政談集會若ハ發起人タルコトヲ許スト云フノデ  
アリマシテ（違フミ）、「黙テ聽ケ」ト呼フ者アリ、結社ニハ  
加入スルコトヲ許サヌト云フ趣意ヲ以テ、憲政會案ハ出テ  
居ルノデアリマス（拍手起ル）只今三木君ノ御質問ニ依ル  
ト、恰モ女子ニ結社ノ自由マデモ、憲政會ノ方ニガ許サユ  
ナ御言葉デアリマシタガ、洵ニ奇怪千萬ナル事ヲ承ハル次第  
デアリマス、而シテ委員會ニ於ケル模様如何ト云フコトデア  
リマスルガ……

〔此時發言スル者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……

○宮古啓三郎君（續） 委員會ニ於キマシテ種々ノ御議論  
ノゴザイマシタ所ヲ、私ハ委員長トシテ紹介ヲ致シタニ止ル  
ノデアリマス、決シテ私ハ一個ノ考ヲ以テ申シタノデハゴザイ  
マセヌ、此段御承知ヲ願ヒマス（拍手起ル）

○三木武吉君 只今宮古君ハ、私ノ質問ノ趣旨ヲ御取違  
ニナレテ御答辯ニナレテ居ルヤウデゴザイマスカラ、一言申上  
ゲテ置キマス、私ハ不肖ナリト雖モ、我が憲政會ノ提案中ニ  
婦人ニ結社ノ自由ヲ與ヘルト云フコトガ掲ゲラレテ居ラナ  
イ位ハ、宮古君ノ御指圖ヲ受ケナイデモ、十分ニ承知ヲ致シ  
テ居ルノデアリマス、私ハ宮古君ノ御報告ニナリマシタル理  
由、即チ良妻賢母ナルガ故ニ——タラザルベカラザルガ故  
ニ、結社ノ自由ヲ與ヘナイト云フヤウナ御論ガアツトスルナ  
ラバ、日本國ノ婦人ハ永久ニ良妻賢母タラザルベカラザルガ  
故ニ、永久ニ結社ノ自由ヲ認メルコトガ出来ナイト云フ結  
論ニナルガ、ソレデモ宜シイト云フノデアルカ、サウ云フ時代  
錯誤ノ議論ガ委員會ニ出タカ、貴方御自身ノ頭カラ絞り出  
サレタノデアルカト云フコトヲ、御尋シテ居ルノデアリマス、無  
論憲政會ノ案ニ其條項ガ規定セラレテ居ラナイコトハ、承知  
ハ致シテ居リマス、憲政會ハ近キ將來ニ於テ、日本婦人ノ  
智識進歩ノ時代ニ於テ、結社ノ自由ヲ認メ、選舉權ヲ與ヘ  
ルト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ就テハ政友會ノ  
人モ異論ハ無イ、貴方遠ノ大將、賢明ナル總裁デアル原君

デサヘモ異論ガ無イノニ、マサカ宮古君ガ御年加減ト雖モ  
之ニ反對ニナルト云フコトハナカラウト思フノデ、御尋シタノ  
デアリマス

〔答辯無用〕無用々々ト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 靜ニ……

○宮古啓三郎君 委員會ニ於キマシテハ色々ト説ガ出マシ  
テ、其説ヲ私ハ御紹介シタノデアリテ、要シマスル所ハ法律ト  
云フモノハ、其當時ノ狀態ニ適合スルヤウニ作ラナケレバナ  
ラヌ所ノモノデアアル（ヒヤ）ト呼フ者アリ、其當時ノ教育  
ノ程度ニ應ジテ作ラナケレバナラヌ所ノモノデアアル、今日ノ時  
代ニ於テ此婦女ニ結社ノ自由ヲ許スト云フコトハ宜シイナ  
イト云フ趣意カラシテ、先刻申シマシタ通りノ案ニ致シタノデア  
リマス、將來ニ於テ時機ガ來マシタナラバ、女子ニ對シテ参政  
權ヲ與ヘルト云フコトモ無論ゴザリマセウ、今日ノ時代ニ於テハ併  
ナガラ左様ニハ參ラヌト云フノデ、是ハ御答ヲシタノデアリマ  
ス

○三木武吉君 議長

〔無用〕「揚足取りハヨセ」ト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 諸君靜ニ……無用デアルカナイカ、  
議長ノ宣言ヲ御聽キナサイ、三木君ノ尋ニ對シテ、宮古君  
ノ答ヲ靜ニ聽キマス、幾ラカ齟齬シテ居ルヤウニアリマス、サ  
リナガラ此上ハ討論ニ流レル虞ガアリマスカラ、雙方討論ニ  
入ッテ、十分ニ其意思ヲ述ベラレタイト思ヒマス

〔ノウウ〕ト呼フ者アリ〕

○三木武吉君 議長

○議長（與繁三郎君） 三木君、何デスカ

○三木武吉君 私ハ討論ヲ致ス必要ハ無イノデアリマス、  
宮古君ガ述ベマスル所ノ……

○議長（與繁三郎君） 一寸御待テナサイ、諸君靜ニ……  
議長ノ聽ク所ニ依ルト、三木君ノ尋ニ對スル宮古君ノ答ガ  
適當シテ居ラヌ場合モアルヤウニ思ヒマスカラ、モウ一應……

〔公平々々〕適當シテ居ルト呼フ者アリ〕

○三木武吉君 只今宮古君ガ最後ニ述ベラレタル所ノ、  
婦人ニ結社ノ自由ヲ與ヘナイト云フコトニ就テノ理由ト致シ  
マシテ、總テ法律制度ハ……

○議長（與繁三郎君） 三木君ニ御注意致シマス、貴方ノ  
御言葉ハ、成ベク短ク簡明ニ願ヒタイト思ヒマス

○三木武吉君 私ノ生付デゴザイマスカラ、致方ガゴザイマ  
セヌ又、宮古君ノ只今ノ最後ノ御發言ニ依リマス、婦人ニ結  
社ノ自由ヲ與ヘザル理由ト致シマシテ、法律制度ガ其時代  
ニ適應スルヤウニ作ラナケレバナラヌ、現在非ナルガ故ニ、將

理由ヲ述ベラレルト云フコトハ、其理由其立法ニ於テ、大ナル

矛盾ガアルト私ハ信ジマス、斯ノ如キ時代錯誤ノ暴論ガ委  
員會ニ於テ委員ノ何人カラカ發言セラレタノデアルカ、或ハ  
宮古君一個ノ見解トシテ、委員長ノ報告ニ名ヲ藉リテ此時  
代錯誤ノ御迷論ヲ爲サレタノデアルカ、御尋フシテ置ク必  
要ガアルト思フノデアリマス

デサヘモ異論ガ無イノニ、マサカ宮古君ガ御年加減ト雖モ  
之ニ反對ニナルト云フコトハナカラウト思フノデ、御尋シタノ  
デアリマス

來非ナリト云フモノナク、其時ト場合ニ依テ適當ナル立  
法ヲスルノアル、此理由カラシテ、婦人ニ現在ハ結社ノ自  
由ヲ與ヘナイノデアルト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、若  
シ果シテ其通りノ御論デアルト致シマスレバ、全然私ノ信  
テ居リマス理由ト一致ヲ致スノデ、私ハ満足ヲ致シマス、  
併ナガラ宮古君ガ演壇ニ立タレテ委員長トシテ爲サレタル  
報告ノ中ニハ、其言葉ハ残念ナガラ無カッタノデゴザイマス、  
〔ヒヤ〕ト呼フ者アリ、拍手起ル、婦人ハ良妻賢母ナラザ  
ルベカラザルガ故ニ、結社ノ自由ヲ與ヘナイト言ウノデアリマ  
ス、若シ此理由ガ正シケレバ、絶對的ニ如何ナル時代ト雖  
モ、日本婦人ニハ結社ノ自由ヲ與ヘナイト云フ結論ニナル  
カラ、其誤ヲ正サンガ爲メニ、私ハ宮古君ニ御尋フ致シタ  
デアリマス

○宮古啓三郎君 簡單ニ答ヘマス、〔答辯濟シテ居ル〕ト  
呼フ者アリ、三木君ハ御若イ爲メニ、私ノ言フ事ガ御分リニ  
ナラヌト思ヒマス、私ノ先程申シマシタノハ、委員會ノ状態  
ヲ御取次ヲ致シタニ止ルノデアリマシテ、即チ多數ノ人ノ言  
論ノ其容子ニ依リマシテ、又其言ヒマシタ所ニ依リマシテ、  
此結社ノ自由ヲ與ヘヌト云フコトハ、即チ今日ノ女子ノ教  
育程度ナルモノハ、決シテ男子ト同一ニ取扱フマデノ域ニ達  
シテ居ルトハ認メルコトガ出來ナイ、而シテ女子ト云フモノ  
ハ女子ノ本分ガアル、良妻賢母トシテ、家事ヲ料理スル其天  
職モアルノデアリシ、今日ノ此状態ニ於キマシテハ、マダ結社  
ノ自由ヲ許スコト云フコトニ致スコトヲ認メラヌニ依テ、之  
ニハ賛成スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタ

○議長(奥繁三郎君) 板野友造君

〔板野友造君登壇、拍手起ル〕

○板野友造君 只今委員長ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告  
ニナリマシタ、此委員會ニ於テ、國民黨提案ノ一部ガ採用  
サレマシタルコトハ、洵ニ満足ノ至リデアリマス、其大部  
分ガ、否定ヲサレテ居リマス、委員長御報告ニアリマシタル  
如ク、國民黨ノ主張ヲ致シマシタ中デ、第五條中ノ政談集  
會ニ女子ヲシテ加入セシメ、若ハ其發起人タラシメヤウトス  
ル點ハ、國民黨ノ主張ガ委員會ニ於テ容レラレテ居ルノデ  
アリマス、ソレカラ制裁法ニ涉ル點ニ於テ、輕禁錮ヲ禁錮ニ  
改メルト云フ國民黨ノ主張モ、委員會ニ於テ容レラレテ居  
ルノデアリマス、最モ此改正ヲ叫ビマシタ中デ重キヲ置  
キマシタ第五條第十七條等ガ、委員會ニ於テ多數ノ反對  
ヲ受ケテ、是ガ採用ニナラナカッタ點ハ洵ニ遺憾ニ思ヒマス、  
要スルニ私共ハ是ニ於テ最初改正案ヲ提出ヲ致シテサウシ  
テ主張ヲ致シマシタ、所謂國民黨案ナルモノヲ維持スルト  
云フコトヲ爰ニ言明フ致シテ置キマス、唯ダ此改正セント欲

シタ主ナル第五條、第十七條ニ就テ、重ネテ一言ヲ致シテ置  
キマス、是ハ提案ノ理由ヲ説明致シマシタ際ニ申シマシタコ  
トデアリマス、ルカシテ、重複致ス點ハ一切之ヲ省キマス、〔簡  
單明瞭ニ顯ヒマス〕ト呼フ者アリ、第五條ニ於テ私共ハ、我  
黨ニ於テハ教師デアルトカ、或ハ僧侶、神官ト云フヤウナ者  
ニ、政治上ノ結社ニ加入スルコトヲ許サウ、是等ノ者ハ總ジ  
テ其智識ノ上カラ、其思想ノ上カラシテ、之ヲ政治上ノ結  
社ニ入レルニ於テ、決シテ之ヲ拒ムベキ理由ガ無イノデアリ  
マス、唯ダ宮古委員長ノ御言葉ノ中ニ、頻リニ此狂奔ト云  
フ言葉ヲ用ラレテ居リマスガ〔拍手起ル〕吾ハ斷ジテ是  
等ノ人ニ政治上ノ結社ノ自由ヲ認メマシテモ、是等ノ狂奔  
ヲ希フ譯デアリマセヌ、〔ヒヤヒヤ〕簡單ト呼ヒ、其他發  
言スル者多シ、唯タ此自由ヲ認メルノデアラフテ、其狂奔ハ……

○議長(奥繁三郎君) 三枝君靜ニナサイ  
〔三枝彦太郎君「何デスカ」ト呼フ〕

○板野友造君(續) ソレハ吾モ反對スル點デアリマス、ソレ  
カラ第十七條ニ於テ、未ダ政府ニ於テ勞働組合法、或ハ勞  
働ノ爭議ニ關スル提案ノ無イコトハ、洵ニ遺憾ニ存ジマス  
ガ、今ノ時代ニ於テ、此十七條ノ如キハ最モ時代ニ後レタル  
惡法デアルト信ズルガ故ニ、之ヲ削除シヤウト主張スルノデ  
アリマス、他ノ小サイ點ニ就テハ、前會ニ説明ヲ致シタ通り  
デアリマス、カラ總テ之ヲ省キマス、要スルニ國民黨案ヲ維持  
スルコトヲ言明致シマス〔拍手起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 土屋興君  
〔土屋興君登壇、拍手起ル〕

○土屋興君 諸君、私ハ委員會ノ修正案ニ賛成ノ意ヲ表  
セントスル者デアリマス、今回ノ改正ニ際シマシテ、最モ廣汎  
ナル意味ノ改正ヲ企テラレマシタノハ、國民黨案デアリマ  
ス、而シテ此逐條ノ點ニ就キマシテハ、只今委員長カラ詳細  
ナル御報告モアリマシタシ、又只今板野君ノ御話ニ依リマス  
ルト、主トシテ第五條第十七條ノ點ニ就テ修正案ニ反對  
ヲ表セラレテ、原案ヲ支持スルコト云フコトニ拜聽致シマシタ  
カラ、私ハ第五條第十七條ノ點ニ於テ、國民黨ノ御意見  
ニ反對スル所ノ理由ヲ申上ゲテ見ヤウト思フノデアリマス、  
此第五條ハ神官僧侶、其他宗教ニ從事スル者、及學校教  
員、學生、生徒ト云フガ如キ者ニ對シテ、政治上ノ結社ニ加  
入スルト云フコトヲ禁ジテ居リマスノデ、國民黨ハ之ヲ政治  
上ノ結社ニ加入スルコトヲ認メントスルノデアリマス、又修  
正案ニ於テ國民黨第五條ノ點ニ於テ一致シテ居リマス  
ノハ、現行法ガ政談及政論ヲ爲ス所ノ場所ニ、婦人ノ出入  
シ、及之ガ發起人トナルト云フコトヲ禁ジテ居リマスルノ

認メルト云フ點ニ於キマシテハ、國民黨ノ意見ヲ同ジウ致シ  
テ居ル點ナノデアリマス、ソレニ就キマシテ板野君ハ、極ク簡  
單ニ御理由ヲ御述ニナリマシタ、又委員會ニ於キマシテ、  
色ニ提案者トシテノ御説明ヲ伺ヒマシタケレドモ、未ダ私ヲ  
シテ首肯セシムルニ足ルル御意見ヲ拜聽スルコトガ出來ナ  
カッタノハ、私ノ遺憾トスル點デアリマス、此神官僧侶ノ  
如キ、身聖職ニ在ル者ガ政治ニ接近スルコト云フコトハ、國  
家ニ取リマシテモ、又神官僧侶其人ニ取リマシテモ、果シテ  
策ノ得タルモノデアラカドウカト云フコトハ、私ノ大ニ疑問  
トスル所デアリマス、御承知ノ如ク歐羅巴諸國ニ於キマシテ  
ハ、政教混淆ノ爲メニ隨分苦シク歴史モアルノデアリマス、  
幸ニ我國ニ於キマシテハ、國情ヲ異ニ致シテ居リマス、結  
果、斯ノ如キ歴史ヲ有サナイト云フコトハ、洵ニ幸福トスル  
所デアリマス、併ナガラ今後若シ神官僧侶ノ如キ者ガ政治  
ニ接近スルコトニナリマシテ、果シテ斯ノ如キ憂ヲ惹起サ  
イカドウカト云フコトハ、大ニ疑問トスル所デアリマス、又御  
承知ノ如ク神社ニハ氏子、寺院ニハ檀家ト云フモノガアリマ  
シテ、是等ハ何レモ夫々異ナル所ノ政治的色彩ヲ有シテ居  
ルノデアリマス、今若シ神官僧侶ト云フガ如キモノガ、政治  
的色彩ヲ有シテ是等ニ接スルト云フヤウナ場合ニハ、果シテ  
如何ナル結果ガ起ルデアリマセウカ、私ハ神社デアリマス  
トカ、寺院ト云フヤウナモノガ、其尊嚴ヲ維持シ、人ノ信仰  
ヲ集ムル所以ノモノハ、畢竟彼等ガ俗界ニ超越致シマシテ、  
政治的色彩ヲ有サナイト云フ點ニ在ルト信ズルノデアリマ  
ス〔拍手起ル〕ヒヤ、〔愚論聽クニ堪ヘズ〕ト呼  
フ者アリ、御承知ノ如ク現在僧侶ノ一部ノ者ガ、參政權ヲ  
得ント致シマシテ盛ナル運動ヲ起シテ、現ニ當院ニモ幾度  
ノ請願ガ出テ居ルノデアリマス、而シテ現行ノ選舉法ガ、今  
日迄神官僧侶ト云フモノハ、板野君ノ御話ノ如ク其教育ノ  
程度、其社會的地位ニ於テ、常人ニ優ルトモ劣ルコトナイ  
ニ拘ラズ、依然トシテ選舉權ヲ與ヘナカッタ所以ノモノモ、私  
ノ只今申シマシタ所ノ理由ニ在ルト信ズルノデアリマス、然  
ルニ今日尙ホ參政權ヲ與ヘルト云フコトスラ問題トセラレテ  
居リマスルノニ、之ニ直チニ政治上ノ結社ニ加入スル所ノ  
自由ヲ與フルト云フコトハ、私シ到底首肯シ得ザル所デアリ  
マス、又教員學生ニ對シマシテ、政治上ノ結社ニ加入スルコ  
トノ自由ヲ認メルト云フコトモ、頗ル考フベキ問題デアルト  
信ズルノデアリマス、昨年普選問題ノ八釜シカッタ當時ニ於  
キマシテ、我國ノ學生ガ普選問題ニ參加シタ形跡ガアルノ  
デアリマス、當時某政黨ノ如キハ、陰ニ之ヲ勸誘獎勵シタ傾  
ガアルト思フノデアリマス、又或ル博士ノ如キハ、歐羅巴諸  
國ニ於テ、學生ガ實際政治ニ參加スルト云フコトヲ御話ニ

ナリマシテ、我國ノ學生ガ普選問題ニ參加スルニ至ラト云フコトハ、要スルニ學生ノ進歩デアアテ、我國ノ一大發展デアルト云フコトヲ、放言セラレタト云フコトモ耳ニ致シテ居ルノデアリマス、而シテ私ハ、是非非常ニ誤ラテ御見解デアルト信ジテ居ルノデアリマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ) 成程歐羅巴諸國ニ於キマシテモ、學生ガ實際政治ニ參加シタ所ノ歴史ハ無イデハナイノデアリマス、併ナガラ是ハ概シテ議會政治ノ認メラレザル時代カ、若クハ議會政治ト云フモノカ、國民ノ信望ヲ失フ時ノ場合デアリマス

〔「ノウ」ト呼フ者アリ〕「獨逸ニ例ガアルザヤナイカ」ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……

○土屋興君(續) 彼ノ露國及匈牙利ノ如キ國家ニ於キマシテモ、議會政治ヲ得シガ爲メニ、學生ガ實際政治ニ參加シタ所ノ歴史ハアリマスルケレドモ、議會政治ガ開設セラレシク以來、學生ガ實際政治運動ト云フモノニ參加シタト云フコトノ例ハ無イノデアリマス、之ヲ要スルニ學生ガ實際政治ニ參加シ、政治運動ニ狂奔スルト云フノ時代ハ、議會政治ノ開設セラレザル時カ、或ハ議會政治ガ國民ノ信望ヲ喪ヒマシテ、國民カラ無視セラレタ時デアリマス、(「ノウ」ト呼フ者アリ) 恰モ今ノ如シト呼フ者アリ) 若シ我國ニ於テ斯ノ如キ時代ガ實現致シマシタラバ、ソレハ國家ノ一大不祥事デアアテ、海ニ悲ムベキ事デアリマス、私ハ斯ノ如キ案ガ只今國民黨ニ依ラテ、主張セラレマシテ結社ノ自由ヲ與ヘントスルガ如キコトガ議會ニ於テ認めラレルト致シマスレバ、ソレハ要スルニ議會其物ノ自殺デアアテ、自ら輕ンズルコトノ甚シイモノデアルト信ズルノデアリマス(「拍手」ト呼フ者アリ) 此點ニ於テ反對ヲ表スルノデアリマス、近時學生ガ動モ致シマスルト、結束致シマシテ昇格運動、其他政治的運動ガマシキ舉ニ出ヅルト云フコトハ、學生ノ爲メニモ國家ノ爲メニモ、洵ニ悲ムベキ事デアルト信ジテ居ルノデアリマス(「拍手」次ハ第十七條ノ點デアリマス、是ハ(「寛」リヤレ 餘リ早イ)ト呼フ者アリ) 労働争議ニ關スル所ノ重大問題デアリマス、而シテ國民黨ノ御提案ノ御趣旨ハ、本條ヲ全部削除セントスルニ在ルノデアリマス、私ハ本案ヲ削除スルカ否ヤト云フコトヲ論ズルニ當リマシテ、我國ノ労働問題ニ對スル所ノ根本方針ト云フモノカ、那邊ニ在ルカト云フコトヲ知リタイノデアリマス、御承知ノ如ク我國民程労働問題ニ對スル理解ノ少ナイ國民ハ無カッタデアリマス、(ソレハ政友會バカリダ)ト呼フ者アリ) 此重大ナル問題ガ識者ニ依テ論議セラル、ヤウニナリマシタノモ、最近數年以來ノ事デアリマス、而シテ同盟罷工ト云フモノガ、多數者ガ寄テ少數者ヲ壓迫スルト云フガ如キ傾ノ

アリマスルガ爲メニ、動モスレバ多クノ人ハ之ヲ嫌忌スルノ傾ガアルノデアリマス、併ナガラ私ヲシテ言ハシムレバ、同盟罷工ト云フモノハ、文明國ノ労働者ガ當然發揚スベキ、自己ノ自由ト權利デアルト信ズルモノデアリマス、是ハ進歩セル産業組織ノ上ニ於テハ、避クベカラザル事デアルト信ズルノデアリマス、果シテ然リト致シマシタラバ、此同盟罷工ニ對スル、即チ労働紛議ニ對スル規定ヲ完成スルト云フコトハ、國家ノ義務デアリ、又重大事デアリマス、而シテ第十七條ノ規定ハ、動モスレバ労働組合及労働運動ノ穩健ナル發達ヲ阻害スルノ傾ノアリマス、私ノ常ニ遺憾トスル所デアリマス、此點ニ於キマシテハ、國民黨ノ諸君ト見解ヲ同ジスルモノデアリマス、併ナガラ只今第十七條ヲ忽チ削除スルト云フコトニ至リマシテハ、聊カ御賛成致シ兼ネルノデアリマス、(「ド」ツカガ分ラヌ) 政友會ヲ拔ケ給ヘ「中」旨イト呼フ者アリ) 如何トナレバ同盟罷工ニ於キマシテ、暴行、強迫、誹毀ト云フガ如キ犯罪的行動ノ件ハナイ同盟罷工ガ行ハレルト云フコトハ、事實ニ於テ労働組合ノ組織ガ發達シタ國家ノコトデアリマス、事實ニ於テ私共ガ實際ニ折衝致シマシテ、能ク承知致シテ居リマスケレドモ、我國ニ於キマシテ、労働組合ト云フモノガ不幸ニシテ完備致シテ居リマセテ、結果、少シク大規模ナル同盟罷工ト云フモノガ起リマスル場合ニ於テハ、單ニ誘惑煽動ノミナラス、暴行、強迫、誹毀ト云フガ如キコトガ、實際ニ於テ件々居ルノデアリマス、而シテ労働運動ニ對シマシテ、官憲ガ不當ナル干涉壓迫ヲ加フルト云フコトハ、勿論弊害ガアリマスケレドモ、之ヲ絕對ニ自由ニスルコトモ、亦恐ルベキ結果ヲ來スノデアリマス、サレバ私ハ我國ニ於キマシテ、一日モ早く労働立法ノ完成セララル、コトヲ切望スルモノデアリマス、而シテ此労働立法ノ完成ヲ待チマシタ後ニ於テ、本條ヲ改正スルト云フコトガ至當ノ見解デアリ、又適當ノ處置デアルト信ズルノデアリマス、(「拍手」) 此意味ニ於キマシテ國民黨ノ御提案ニハ反對スルモノデアリマス、又幸ニ當局者モ此點ニ着眼セラレマシテ、既ニ労働立法ノ一部ハ、産業調査會ノ議ニ付セラレタト云フヤウナ次第デアリマスカラ、一日モ早く此等労働立法ノ完成ヲ政府ニ促スト云フコトニ止メマシテ、第十七條ノ點ハ、現在ノ儘ニ存置致スコトガ適當デアルト信ズルノデアリマス、(「ヒヤ」ト呼フ者アリ) 又只今第五條ノ點ニ於キマシテ、女子ヲシテ政論集會ニ關與セシムルコトニ就テ聊カ論議スルコトヲ落シテ居リマシタガ、私ハ委員長ノ御報告ニアリマシタ通り、現在ニ於キマシテ女子ノ進歩發展ト云フモノハ、女子教育ノ普及致シマシタ結果、頗ル見ルベキモノガアルノデアリマスカラ、此際ニ於キマシテ、政論政談ニ接近セシムルト

云フコトハ、機宜ノ處置デアルト信ズルノデアリマス、併ナガラ直チニ政治上ノ結社ニ加入スルコトヲ認ムルト云フコトハ、一考スベキモノデアルト思フノデアリマス、是ハ唯今三木君カラモ色々委員長ニ對シテ御質問ガアリマシタケレドモ、今日我國ノ家庭ノ状態ヲ見マシテ、直チニ女子ヲシテ政治上ノ結社ニ加入セシムルコトハ、甚ダ早計デアルト考ヘルノデアリマス(「拍手」) 御承知ノ如ク歐羅巴諸國トハ、我國ハ生活ノ状態ヲ異ニ致シテ居リマスカラ、家庭ニ於テ女子ヲ煩スコトモ頗ル多イノデアリマス、サレバ姑ク女子ガ政治上ノ結社ニ加入スルコトハ、猶豫致シマシテ、徐ニ漸ク以テ政治ノ賦與スルコトニ致スト云フコトハ、女子ガ政治上ニ於テ、穩健ナル發達ヲ促ス所以デアルト信ズルノデアリマス、(「拍手」) 以上述べマシタ理由ニ依リマシテ、委員會ノ修正案ニ賛成ノ意ヲ表シ、國民黨ノ御意見ニ反對ノ意ヲ表スルモノデアリマス、何卒滿場ノ御賛成ヲ以テマシテ、修正案ノ速ニ可決確定セラレンコトヲ希望致シマス、(「拍手」)

○議長(與繁三郎君) 討論ノ通告ハ是デアリマセヌカラ採決致シマス—委員長ノ報告ハ、此四案ヲ合併シテ一案ト爲シタルモノデアリマス、故ニ先ツ委員長ノ報告ニ就テ採決致シマス、委員長ノ報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長(與繁三郎君) 起立多數(拍手) 仍テ委員長報告通り決シマシタ—委員長ノ報告ニ係ル修正案ニ就テ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ハ無イト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ併合修正ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」ノ聲起ル〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ勳議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 御異議ガ無ケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス

治安警察法中改正法律案(濱田國松君外一名提出)

治安警察法中改正法律案(宮房治郎君外一名提出)

第二讀會(確定議)

第二讀會(確定議)



原總理大臣ハ、本議會ニ於テ演說サレマシタ、私ハ諸君ノ爲メニ、原敬君ノ演說ヲ極メテ簡單ニ重ナル所ヲ拔萃シテ、一應朗讀シテ諸君ノ御參考ニ供シテ置キマス

ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ

○井上角五郎君(續) 「國務大臣原敬君、義務教育費ノ國庫補助千萬元ハ更ニ財政ノ許ス限リニ於テハ之ヲ増加スルコトハ無論差支ナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ財政ニ於テハ一千萬元ヲ二千萬元ニ致スハ、容易ナルコトデハナイノデアリマス、願ヒテ地方ハドウデアアルカ、各地方費ノ増加ト云フモノハ近年著シイモノデアリマス、之ガ爲メニ附加税ノ制限等ヲ緩メマシタ、而シテ其地方費中何ガ一番巨額ニ上テ居ルカト申セバ、土木費ト教育費デアリマス、之ニ就テ政府ハドウカ致シマセウト考ヘマシテモ、國庫ノ状態ハ只今申シタル通り、地方ノ財源モ限リアリ然ラバ個人ハドウデアアルカ義務教育ノコトデアアルカ苟モ學齡ニ達シタル子弟ヲ持テ居ル者ハ必ズ就學サセナケレバナラヌ之ガ爲メニ個人ノ負擔モ亦多ク免ニ角國庫ニ於テモ地方費ニ於テモ個人ノ負擔ニ於テモ此際何トカ考慮致サナケレバナラヌ時ニ到若シテ居ルノデアリマス之ニ就テ相當ナル整理ヲ致スコトヲ必要ト考ヘル整理ヲ致シテ減スベキモノハ減ジ先ツ以テ個人ノ負擔モ地方ノ負擔モ多少ノ輕減ヲ計リツレバモ尙ホ必要ナモノハ如何ヤウナ方法ヲ以テシテモ國庫ナリ地方費ナリカラシテ増シテヤラナケレバナラヌ、先決問題トシテハ此教育ヲ整理スルコトガ必要ト考ヘテ居ル政府ハ茲ニ一ツノ調査機關ヲ設ケ「云々」議會開設以來調査シテ居ルノ「ト呼フ者アリ」原總理大臣ノ演說ハ、地方ノ教育費ヲ調査スル、調査シテ整理スル、整理シテ個人ノ負擔モ地方ノ負擔モ減少スル、減少シテ尙ホ不足ヲ生ズルトキハ、國庫ガ之ヲ補助コトモアルデアラウ、是ガ即チ原總理大臣ノ演說デア

ル……

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○井上角五郎君(續) 吾ハ此演說ヲ聽キマシテ、永年研究シ、殊ニ當議會ノ初カラ研究シテ居「ト呼フ者アリ」、恰モ其研究ノ結果ニ到著シタル考ヲ持チマシテ、即チ此議案ヲ提出スルニ至「ト呼フ者アリ」諸君、調査シタナラバ整理ガ出來ルデアラウカ、本員ノ見ル所デハ、調査ヲスレバ即チ整理ガ出來ルト思フテ居ル、第一ニハ學校ノ分合廢止、即チ思切テ學校ヲ分合シ、廢止スルノ之ヲ實行スルニハ二三町村ヲ一區域ト見テ、其境界ヲ眼中ニ置カズ、或ハ二町村ヲ一

學校ト云フコトモ出來ルデアラウ、三町村ニ學校ト云フコトモ出來ルデアラウ、又第二ニハ教員ノ節約デアル、教育費中ノ主ナル支出ハ、教員ノ俸給デアルト云フコトハ諸君モ御承知デアル、其教員ノ俸給ハ勿論吾ハ永年主張シテ、教員ハ優待シナケレバナラヌト主張シ來「ト呼フ者アリ」、丁度今日ニ於テハ相當ノ程度ニ引上ゲテ居ルノデアアル、即チ教員ノ俸給ハ市部ハ約六十圓平均デアリマス、郡部ハ約四十一圓ノ平均デアリマス、教員ハ最初カラ三十圓デ、教員ノ最高ハ二百四十圓ニナテ居リマス、勿論雇ト云フ者ガ此外ニアリマス、斯様ニ教員ノ優待ハ相當ニ出來テ居ルノデアアルシ、又吾ハ教員ノ優待ヲ唱ヘタ者デアラ、教員ノ給料ヲ減ラサウト、左様ナル意見ヲ持テ居ルノデアリマセウ、或ハ早イ話ガ校長一人ヲシテ、二ツノ學校ヲ兼テ持タシメルコトモ出來マセウ、又教育ノ都合ニ依リマシテハ、准教員或ハ雇ヲ助手トスルコトモ出來マセウ、例ハ二部教育ナルモノハ其弊害ガ多イケレドモ、所謂複式教授ノ實際ニ於テ、效果ガ甚ダ學テ居ルト云フコトヲ見タナラバ、「ト呼フ者アリ」全國町村ニ於キマシテ、通常一級七十人——八十人迄許シテアルニ拘ラス、三十人乃至四十人ノ一教場トシテ教育シテ居ル町村——先ツ村ニ於テハ複式ノ方法ヲ行フト云フコトハ出來得ルノデアリマス、此外或ハ建物トカ、器具トカ、用具トカ云フモノニ於テモ、節約ガ出來ルデアラウト思フ、本員ハ是等ノ事ヲゾト考ヘテ見テモ、整理節約ヲスルノ餘地ハ必ズアルト云フコトヲ自信シテ疑ハナイノデアリマス、元來吾ハ唯「ト呼フ者」此教育費ヲ國庫カラ分擔補助スルコトニ就テ、國民黨カラ案ヲ出シテ居ルガ如ク、憲政會カラ案ヲ出シテ居ルガ如ク、學校教員ノ優待ナル言葉ノミニ拘泥シテ、教育費ノ分擔補助ヲ言ウテ居ルノデアリマセウ、即チ今カラ二十年前ニ議會ニ於キマシテ、先ツ最初ノ建議案ガ出マシタノハ、即チ根本君デアラ、其根本君ハ小學校ノ授業料ヲ全廢スベシト云フノガ最初ノ建議案デアリマシテ、政府ハ即チ小學校ノ授業料ヲ全廢スルコトニ同意ヲ表シテ、授第二ニ出タノガ教員ノ年功加俸ヲ國庫カラ補助スルガ宜イト云フノガ、即チ最初ニ成立「ト呼フ者アリ」、吾ハ地方ノ教育費ニ就テ最初以來盡力スル所ノモノハ、勿論小學校ノ教員費ヲ優待スルト云フコトモ、一ツノ問題デアリマセウケレドモ、就中地方ノ費用全體ニ向テ之ヲ減ジタイ、又第二ニハ其子弟ヲ有スル所ノ父兄ノ費用ヲ減ジテヤリタイト云フノガ、ソレガ元カラノ望デアラ、果シテ是等ノ目的ヲ果サウトスルナラバ、此場合ニ於テ即チ學校ノ設備其他ノモノヲ整理シテ、費用ヲ減スルト云フコトガ一番大切デアルト云フノガ、取りモ直サズ吾ハ

ノ調査機關ヲ設ケヤウト云フコトヲ主張スル所以デアリマス、試ニ諸君ガ既往ヲ考ヘテ見ルト、整理節約ガ出來ルカ出來ヌカ、「今以上ニ整理ハ出來ナイ」ト呼フ者アリ」是ガ問題デアル、整理節約ガ出來ルカ出來ナイカ、問題デアルケレドモ即チ既往ノ歴史カラ之ヲ考ヘレバ、整理節約ハ立派ニ出來タト云フコトハ、論ヨリ證據の確ナル統計ガ爰ニ現ハレテ居ル

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○井上角五郎君(續) 試ニ御聽ナサイ(試ニ己レノ顔ヲ見ヨ)ト呼フ者アリ)大正一年乃至三年ニ於キマシテ山本内閣ガ成立シタル當時ニ、山本内閣ハ即チ行政整理ト云フコトヲ標榜シテ、専ラ政府各部ノ行政整理ニ著手ヲ致シマシタ其時ニ、山本内閣ハ政府ガ國家ノ財政ニ關係アル各部ノ行政整理ヲ爲ス「ト呼フ者アリ」併セテ地方府縣ニ對シ、又市町村ニ對シテ、行政整理ヲ爲スベキコトヲ勸テシタノデアリマス、其結果山本内閣ガ大正二年三年ニ於テ行政整理ヲ爲スト同ジク、市町村ガ各々所謂市町村制ノ整理ヲ爲シタノデアアル、是ニ於テ其當時ニ於テ、小學校ノ教育費ガ立派ニ減少シテ居ルノデアアル、先刻申上ゲマシタノハ、市町村教育費デアラガ、之ヲ市町村二分テ申上ゲテ見マセウ、市ノ教育費ハ大正元年度ガ千二百二十八萬圓デ、二年年度ガ千二百六十三萬圓デ、ソレガ山本内閣ノ行政整理ノ影響ヲ受ケテ、三年度ハ千六百六十六萬圓ニナテ居リマス、四年度ハ千五百五十九萬圓ニナテ居リマス、五年度ハ千二百八十八萬圓、即チ六年度ニ至テ始メテ千二百七十三萬圓ノ舊ニ戻テ居リマス、山本内閣ノ行政整理ノ結果ハ市區教育費ニ及ンデ、元年度ニ至テ三年ハ減テ、四年ニ至テ五年ニ至テ舊ニ復シテ、偶、戰爭ノ影響ヲ受ケテ忽チ増加シタト云フノガ、是ガ市區教育費ノ有様デアアル、又町村教育費ハ、明治四十四年度ガ四千九百九十五萬圓、元年度ガ五千三百九十九萬圓、ソレカラ二年度ニハ四千七百五十八萬圓トナリ、三年度ニハ四千七百七十一萬圓、四年度ニハ四千七百八十六萬圓、即チ五年度ニ至テ始メテ五千八百三十三萬圓、ソレカラ六年七年八年ト行テ今日ノ如ク増加シテ居リマス、市區教育費モ町村ノ教育費モ高カク平均カラ斯ウ下「ト呼フ者アリ」、戰爭ノ影響ヲ受ケテ再ビ上ツトハ是ハ何故デアアルカ、即チ山本内閣ガ自ラ行政整理ヲ行フ「ト呼フ者アリ」、府縣ヲシテ町村ヲシテ、之ニ倣ハシメタル結果トシテ、約一割ノ費用ガ減少シタノデアルト云フコトハ、吾ハ諸君ト共ニ之ヲ認メザルヲ得ナイノデアリマス、果シテ是ガ

認メラレラバ、(現内閣ガヤッタ)下呼フ者アリ)何モ私ハ現内閣ガヤッタト云テハ居ナイ、既にニ於テ斯様ナ事ガアルト云フコトガ果シテ認メラレ得ルナラバ、今日ニ於テ整理ヲ爲シテ、整理ノ結果が見ラレ得ナイト云フコトガ言ハレ得ルダラウカ、今日ニ於テ整理ノ結果が見ラレ得ルモノハ、果シテ如何ナルカト云ヘバ、山本内閣ノ時ニ内閣自ラ行政整理ヲ爲スニ至ラテ、府縣又ハ市町村ヲシテ之ニ倣ハシメテニ過ギナイ、今回ハ調査機關ヲ置イテ、市町村ヲ本位ニシテ整理ヲ爲スノデアル、時恰モ教育費ノ膨脹ハ非常ニ膨脹シテ居ル物價ハ一タヒ騰貴シテ、今ヤ下落ニ傾イテ居ルノデアル(餘リ缺ヲ振廻スナ)ト呼フ者アリ)地方ハ即チ米價其他ノ騰貴ノ爲メニ、嘗テ整澤ニ流レタ時デアル、今日其反動ヲ受ケントシテ居ル時デアルカラ、斯様ナ場合ニ於テ整理ヲ實行シクナラバ、整理其物ノ實效ガアルト云フコトハ、恐ラクハ何人モ認メ得ナイコトデハナカラウト思ヒマス、試ニ最近ニ於ケル教育費ノ市町村會計ヲ申シテ見レバ、七年度ハ七千九百六十八萬圓、八年度ハ一億千六百六十六萬圓、即チ八年度ハ三割ノ増加デアアル、九年度ハ一億七千九百三萬圓——九年度ハ一億七千九百二萬圓、即チ八年度ニ較ベテ約六割ノ増加デ、若シ七年度ヲ以テ九年度ニ較ベマスレバ、九年度ハ七年度ノ倍ニナラシメ居ルノデアル、此様ナ計算デアール場合ニ、物價ハ下落シツ、アル……

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕  
 ○議長(奥繁三郎君) 靜……  
 ○井上角五郎君(續) 即チ地方ハ米價下落等ニ依ッテ自ラ不景氣ヲ感ジツ、アルノデアル、其様ナ時ニ整理ヲ實行シテ、三割乃至四割ノ費用ヲ減少スルコトハ、恐ラク容易ナル事デアラト思フ、諸君ハ徒ラニ既往ノ言葉ニ拘泥シテ、時ト共ニ變化スルコトヲ忘レテ、國庫カラ千萬圓ヲ出スト言フノ、千萬圓出シテ、其通りニ千万圓ニシテ吳レト千万圓ニ出シテ、此金高ニ徒ラニ拘泥シテ、教員ノ優待ト云ヘバ何ヤラ地方ノ教員ガ喜ブガ如キ態度ヲ執ルヨリモ、(何ヲ言フト呼フ者アリ)徒ラニ言葉ノ端ニ——既往ニ拘泥スルヨリモ、事實ニ於テ只今ノ如ク整理節約ヲシクナラバ、即チ一萬七千九百二萬圓ノ三割ハ幾ラデアアルカ、若シ四割ヲ節約スレバ幾ラニナル、丁度教員ノ俸給ヲ國庫デ補助スルノ大正七年ノ法律ノ成立シタル當時ハ、マダ七年度ノ豫算ガ判ラヌ時デアリマシタカラ、地方ノ教員費ハ合計六千萬圓ト見テ居ラタノデアル、其六千萬圓ノ中、俸給ハ約三千万圓ハ今一千万圓出スガ、行ハ半額ダケヲ補助スル積リデアールト云フガ目的デアッテ、即チ今日諸君ガ千万圓ヲ二千万圓ニ直スト云フノハ、此時ノ議論ガ骨子ニナラシメ居ル、徒ラニ

議論ニ拘泥スルヨリモ、中央國庫ノ財政今日餘裕アルニ非ザル時ニ方ッテ、恰モ地方ノ教育費ハ、之ヲ整理スルニ十分ナル餘地アリト認メタラバ、何ヲ苦シデ吾々ノ案ニ御反對ナサル道理ガアルデアラウカ、恐クハ是ダケ言ウタナラバ、唯タ自分ノ説ノミニ拘泥ナサレ諸君ニ於テモ、成程ト……

〔此時發言スル者多シ〕  
 ○議長(奥繁三郎君) 靜……  
 ○井上角五郎君(續) 御了解ノ上御賛成下サルコトデアールトハ私ハ思ヒマス、(拍手)即チ要スルニ教育費ノ十分ナル整理節約ヲ行シテ、恐クハ之ニ依ッテ地方ノ教育ノ振興ヲ圖ルコトガ出来、地方費ノ減ルノミナラズ、地方ノ子弟ヲ有スル父兄ノ費用モ減ラテ、教育ガ必ズ振興スルト云フコトヲ信ジテ疑ハヌノデアルガ、万一向且ツ必要アル場合ニ於テハ即チ國庫カラ相當ナル金ヲ出シテ然ルヘキデアアル、要ハ速ニ之ヲ實行セラレタイト云フノガ、本員等ノ主張スル建議案ノ大體ノ趣意デゴザイマス、是ダケ申上ゲマシテ、諸君ノ御賛成ヲ求メマス、(拍手起ル)  
 ○議長(奥繁三郎君) 本案ノ提出者ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス——樋口秀雄君  
 〔樋口秀雄君登壇 拍手〕  
 ○樋口秀雄君 本案、極メテ重大ナル案デアリマスカラ、只今井上君ノ御説明ヲ詳細聽致シタノデアリマス、然ルニ私ハ本案ヲ御提出ニナリマシタ初カラ、此案ニ就テハ多大ノ疑問ヲ持ッテ居ラタノデアリマス、御説明ヲ伺ハズシテ、理由書ニ記サレタル所ニ依ッテモ、多大ノ疑ガアタノデアリマス、即チ第一本案ハ院議ノ精神ヲ忘却ガサレタ建議案デアアルマイカト云フコトガ、第二ハ最近ノ衆議院ノ先例ニ反イテ居ラレルト云フコトガ、第三ハ此案ニ書イテアリマスル所ノ御趣旨ハ、先頃全國ノ町村長會ヲ通ジマシテ、全國ノ國民カラシテ政府及吾々ニ訴ヘテ居リマシタ、其請願ノ趣旨ヲ衷切ッテ居ル案デアナイカト思フテ居ラタノデアリマス、(拍手スル者アリ)然ルニ事重大デアリマスカラ、只今井上君ノ詳細ナル御説明ヲ逐一伺ヒマシタ所ガ、愈、私ノ疑ハ深クナタノデアリマス、一言ニシテ大體ノ所ヲ申シマス、井上君ノ議會開催以前ニ遡ラレ、明治——第四議會以來ノ古イ歴史ヲ詳細ニ御述ニナリマシタガ、成程古イ歴史ニハ御精通ニナラシメ居ラマスガ、最近ノ歴史ヲトント忘却シテ居ラル、ヤウニ私ハ感ジタ、(拍手)私ハ決シテ議論ヲ好ム者デアナイト云フ證據ニ其二一ヲ申上ゲマス、大正十年度ニ於ケル此國庫カラ補助致シマスル義務教育費ガ、千二百六十五萬圓デアアルト云フ風ニ御述ニナラシメ居リマスガ、此計數モ違ラシメ居リマス、是レ以上デアリマス、即チ未ダ貴族院ニ

通過致シマセヌカ一年現役兵ノ俸給ヲ國庫カラ八割支出スルト云フ案ハ、諸君モ喜ンデ御賛成ニナラシメ、全院一致ヲ以テ通過シタ案デアリマス、(ヒヤ)是ハ此數以外デアールコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、(無論)ト呼フ者アリ)次ニ此大正十年度ニ於ケル市町村ノ教育費ヲ、一億七千八百萬圓ト云フ風ニ御述ニナラシメ居ル、是モ違ラシメ居リマス、義務教育費ノ額ガ、一億四千八百萬圓内外デアッタト私ハ記憶シテ居ル、井上君御述ノ一億七千七萬圓ハ、是ハ簡易商業學校デアールト云フガ如キ、地方ニ於テ、經費ヲ負擔シテ居ル其ノ教育費ヲ混ゼタモノデアアル、十把一束ニ、之ヲ以テ義務教育費ト御決定ニナルノハ、甚ダ困ルト思ヒマス、(拍手)又只今ノ國庫負擔法ニ依ッテ一千万圓ヲ出シテ居リマスガ、是ガ其當時通計六千万圓ノ教育費ノ中、教育費ノ三千万圓ニ對シテ一千万圓出シタト云フ御説ガアリマシタガ、是モ全く當時ノ歴史ノ御忘却ニナラシメ御議論デアアル、其當時ノ教育費ガ通計三千七百萬圓デアリマシタ、年々從來増加スル率ヲ見積リマス、兩三年後ニハ四千万圓ニナル、隨テ此教員費ノ半額マデハ、國庫ガ之ヲ負擔スルノガ當然デアアルト云フコトハ、政友會ノ諸君モ吾々モ他ノ黨ノ諸君モ、全院一致ヲ以テ之ヲ建議致シタノデアリマスカラ、此計數モ違ラ、是ハ一例デアリマス、斯ク折角詳細ナル御議論デアリマシタガ、根柢ガ最近ノ歴史ヲ無視シテ居ラレルト云フ私ハ遺憾ト思フ、第一此案ニ就キマシテ、此政府ノ本議會ニ於テ言明シタルガ如ク、速ニ調査機關ヲ設ケ、市町村教育費ノ整理節約ヲ圖リ、此處マデハ一應御議論デアリマス、御議論デアリマスガ、尙ホ必要アル場合ニ於テハ、相當ノ金額ヲ支出スベシト云フコトガアル、サウシテ此支出ノ目的ヲ只今井上君ハ何ヤラ御違ヘニナリマシテ、憲政會ヤ國民黨ハ唯タ教員優待ノ爲メニ、此一千万圓ヲ出スト云フヤウナ議論ヲスルト仰セラレマシタガ、サウデハナイ、是ハ案ヲ御覽ニナレバ判ル、義務教育費ノ國庫負擔法ト云フモノガ、兩様ノ目的ニ使用サレテ居ルト云フコトハ明カデアリマス、吾々ノ案モ單ニ教員優遇ト云フヤウナ案デアナイ、是モ同様ニシテ論ゼラレマスケレドモ、ソレハ姑ク措キ、尙ホ必要アル場合ト云フ御論斷ハ、最近ニ於ケル議會ノ意思ニ反シテ居ルト私ハ思フ……

○議長(奥繁三郎君) 樋口君ニモ注意シテ置キマスガ、近頃此討論前ニ質疑ノ名ヲ以テ、往々討論ニ入ル人ガアリマス、現ニ本案ニ就テモ憲政黨ノ荒川君、無所屬ノ野溝君ナドノ反對通告ガアリマス、其前ニ先ダテ質疑ノ名ヲ以テ反對意見ヲ述ベラ、ヤウナ卑劣ナ方ハアリマス、サウ云フ事ノ無イヤウニ御注意ヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 靜……  
 ○井上角五郎君(續) 即チ地方ハ米價下落等ニ依ッテ自ラ不景氣ヲ感ジツ、アルノデアル、其様ナ時ニ整理ヲ實行シテ、三割乃至四割ノ費用ヲ減少スルコトハ、恐ラク容易ナル事デアラト思フ、諸君ハ徒ラニ既往ノ言葉ニ拘泥シテ、時ト共ニ變化スルコトヲ忘レテ、國庫カラ千萬圓ヲ出スト言フノ、千萬圓出シテ、其通りニ千万圓ニシテ吳レト千万圓ニ出シテ、此金高ニ徒ラニ拘泥シテ、教員ノ優待ト云ヘバ何ヤラ地方ノ教員ガ喜ブガ如キ態度ヲ執ルヨリモ、(何ヲ言フト呼フ者アリ)徒ラニ言葉ノ端ニ——既往ニ拘泥スルヨリモ、事實ニ於テ只今ノ如ク整理節約ヲシクナラバ、即チ一萬七千九百二萬圓ノ三割ハ幾ラデアアルカ、若シ四割ヲ節約スレバ幾ラニナル、丁度教員ノ俸給ヲ國庫デ補助スルノ大正七年ノ法律ノ成立シタル當時ハ、マダ七年度ノ豫算ガ判ラヌ時デアリマシタカラ、地方ノ教員費ハ合計六千萬圓ト見テ居ラタノデアル、其六千萬圓ノ中、俸給ハ約三千万圓ハ今一千万圓出スガ、行ハ半額ダケヲ補助スル積リデアールト云フガ目的デアッテ、即チ今日諸君ガ千万圓ヲ二千万圓ニ直スト云フノハ、此時ノ議論ガ骨子ニナラシメ居ル、徒ラニ

議論ニ拘泥スルヨリモ、中央國庫ノ財政今日餘裕アルニ非ザル時ニ方ッテ、恰モ地方ノ教育費ハ、之ヲ整理スルニ十分ナル餘地アリト認メタラバ、何ヲ苦シデ吾々ノ案ニ御反對ナサル道理ガアルデアラウカ、恐クハ是ダケ言ウタナラバ、唯タ自分ノ説ノミニ拘泥ナサレ諸君ニ於テモ、成程ト……

○議長(奥繁三郎君) 樋口君ニモ注意シテ置キマスガ、近頃此討論前ニ質疑ノ名ヲ以テ、往々討論ニ入ル人ガアリマス、現ニ本案ニ就テモ憲政黨ノ荒川君、無所屬ノ野溝君ナドノ反對通告ガアリマス、其前ニ先ダテ質疑ノ名ヲ以テ反對意見ヲ述ベラ、ヤウナ卑劣ナ方ハアリマス、サウ云フ事ノ無イヤウニ御注意ヲ望ミマス

○樋口秀雄君 議長ニ御答致シテ置キマス、只今歴史ヲ御述ベニナリマシカラ、歴史ヲ繰返ス必要ガアルノデアリマス

○議長(與繁三郎君) 宜シウゴザイマス

○樋口秀雄君(續) ソコデ何故ニ最近ノ院議ニ反イテ居ルト私ガ申シマスルカト云ヘバ、御記憶デモアリマセウガ、第三十九議會ニ於キマシテ全院一致ヲ以テ、寺内内閣ニ對シテ義務教育費ノ國庫補助ノ案ヲ出シタコトハ、井上君モ今尙ホ御記憶デアラウト思フ、此時各派一致ノ案ハ如何デアリマシタ、委員長床次竹二郎君ガ極力説明サレマシタ通り、當時教育費ガ二千七百萬圓デアリマスカラ、其半バ迄ハ國庫ニ於テ負擔ヲ致シタイト云フ趣意デアッタ、全院舉ツテ一人ノ異議ガ無カッタデアリマス、是ト同時ニ臨時教育會議ニ於キマシテモ此問題ガ出マシタトキ、此教育費ト云フモノガ多額デアッテ、地方ガソレニ苦シム、隨テ教員ノ優遇モ出

來ナイカラ、教員ノ品質ガ劣テ居ル、此兩様ノ目的、殊ニ貴族院ニ於テハ、教員ノ優遇ノミヲ主張サレマシタガ、教育調查會ニ於キマシテハ兩様ノ意味ヲ以テ、少クトモ義務教育費ノ中デ、教員給ノ半額マデハ國庫ガ支給スベシト云フ意味デ、此決議案ガ出來テ居リマス、教育會ノ決議ト吾々ノ院議ト全然符節ヲ合スルガ如クシテ、些ノ相違ハナカッタ、果シテ然ラバ此當時ヨリ衆議院ハ、少クトモ義務教育費ノ半額ヲダケテ國庫カラ之ヲ補助スベシ、若ハ國庫ガ負擔スベシト云フコトハ、院議ノ精神デアッタト私ハ論斷シテ宜シイト思フ、又越エテ四十議會ニ於キマシテ委員長——只今ノ院議大臣中橋徳五郎君ノ委員長ノ下ニ、此時ノ政府寺内内閣カラ、昨年ノ建議案ノ趣旨ニ依ッテ一千万圓ノ國庫負擔法ヲ出サレマシタトキ、政友會ノ諸君ニ於テモ、是ハ吾々衆議院ノ希望ト違フ、僅ニ一千万圓即チ其半額デアール——併ナガラ政府ノ説明ヲ聽ケバ、苦心ヲシテ漸ク一千万圓ヲ出シタト云フコトデアルカラ、若シ財政ノ餘裕ガアルナラバ、二千万圓即チ義務教育費ノ地方負擔額ノ教育費ノ、半額ニ達スルマデ増加スベシト云フ希望ヲ付シテ、可決シテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ三十九議會ニ於キマシテモ、四十議會ニ於キマシテモ、衆議院ノ院議ハ依然トシテ渝ラナイ、教育費ノ半額マデハ支出シヤウト云フ議論デアリマス、四十二議會ニ於キマシテ、是ハ政友會ノ内閣ノ當時デアリマスガ、豫算委員會ニ於ケル加藤政之助君ノ質問ニ對シ、文部大臣中橋君ハ斯様ナ事ヲ御答辯ニナシテ居リマス、米モ高イ、繭モ高イ、故ニ先ヅ以テ必要ガ無イト云フノハ、今ハ増加ノ必要ガ無イ、但シ米ガ下リ、繭ガ賣レナクナリ場合ニハ、政府ハ何トカスル見込デアリマスト云フコトヲ、文部大臣モ言明シテ居ラレル、即チ院議ノ精神ハ、貴方ガタノ黨カラ出テ

居ラレル政府當局ニ於テモ、斯ノ如ク信ジテ居ラレルノデア

ル、又過ル昨年七月ノ四十三議會ニ於キマシテハ、更ニ進ンデ文部大臣ハ斯ノ如キ言明ヲシテ居ラレマス、是ハ昨年ノ七月二十八日デアリマス、當局トシテハ多少宛毎増額シテ半額ニ達シタイト云フ希望ヲ以テ其主義デ今日ヤッテ居ル次第デアリマス(中略)米ガ二十五圓ナリ三十圓ノ時代ニナレバ市町村ニ於テモ國庫ニ於テモ方法ヲ立テマス云々、サウシテ最後ニ之ニ附加シテ言ハル、ニハ、酒稅ヤ煙草稅等カラシテ是等ノ金ハ出ルト思ヒマスガ若シ出來ズンバ他ノ行政費ノ一部ヲ割イテモ實行スル見込デアアルト云フコトヲ言ハレテ居ル、(拍手起ル)果シテ然ラバ衆議院ノ議員ハ固ヨリ、現在諸君ノ戴イテ居ラル、政府當局、殊ニ國務大臣ガ、此米ガ廉クナリ、繭ガ賣レナイ場合、即チ地方ノ財政ガ困難ニ陥ツタ場合ニハ、何モ調査ナドヲ云フコトヲ言ハズニ、假令他ノ行政費ノ一部ヲ割イテモ増加スル、先年ノ院議ニ從フコトヲ言明シテ居ラレルノデアリマス、然ルニ何ヲ苦シムト云フコトヲ言明シテ居ラレルノデアリマス、タラバ補助シラント云フ、必要ガ有ルカ無イカハ衆議院ガ知ラヌト云フヤウナ建議ガ出ル、是ハ先年ノ衆議院ノ院議ヲ無視シタモノト御考ニナルカラナイカト云フ點ヲ、第一ニ伺ヒタイ、(拍手起ル)次ニ此建議案全體ガ、只今前ノ歴史ヲ繰返シテ申述ベタ通り、衆議院ニ於テモ全院一致此意思ヲ表明致シテ居ル、政府ニ於テモ半額ニ達セシメルマデハ、次第二増額シテ行キタイト云フ希望ハ、タンダ六箇月經ツカ經テズノ昨年ニ於テ、政府當局ガ言明シタノデアリマス、然ルニ爰ニ衆議院ニハ一ノ先例ガアリマス、即チ大正八年第四十一議會ニ於キマシテ、私共ガ教育振興ニ關スル建議案ト云フモノヲ提出致シタノデアリマス、其時此所ニ居ラレマスル當時ノ政友會ノ總務小久保喜七君ガ私ノ案ニ對シテ、此案ハ頗ル重要ナル案デアアル、政府當局ガ如何ナル考ヲ持ッテ居ルカ、ソレヲ聽イタ上デ可ク否ク決シタイト云フコトデ、總理大臣原敬君ヲ壇上ニ煩シ、其御意見ヲ聽イタ所ガ、原君ハ何時モ御用井ハナル所ノ種々ナル理由ハ述べテラレマシタガ、尙ホ調査中デアアルト斯ウ云フコトデアアル、考慮中デアアルト云フ御答デアッタ、是ニ於テカ政友會ノ諸君ハ、諸君ノ建議セントスル所ハ現内閣ニ於テ既ニ考慮中デ、早晚實行サルルモノデアアルカラ、斯ノ如キ建議案ハ提出スルノ必要ガナイ、是ニ於テカ岩崎君ノ動議ニ依ッテ即決否決トナツタ歴史ハ、ヨモヤ御忘レナイナラバ、更メテ提出者諸君ニ御伺スル、原總理大臣ガ考慮中デアアルト言ハレルト、其建議案ハ出サナクテモ宜イ、即決否決スベシ、即チ不必要ノ意味ニ於テ即決否

決サレタ、中橋徳五郎君ガ此議會ニ於テモ、此建議案ノ委員會ニ於キマシテモ、私共ニ明言シテ居ル、此地方費ノ增加ニ伴ヒマシテ、先ノ衆議院ノ決議ノ精神ニ則リ、又教育會議ノ精神ニ鑑ミテ、之ヲ増加スルノ必要ハ飽認認メマス

トアル、中橋君ノ方ハ井上君ナドヨリモ一歩進ンデ調査シテ、後ニ必要アラバト云フ御考デアナイ、直チニ實行シナケレバナラヌト信ジテ居ル、唯ダ財政ノ關係上、今直グニト云フコトハ御答出來マセヌト云フ斯ウ云フ返答デアアル、然ラバ直チニ實行ハ出來ズトモ、政府ニ於テ總理大臣ハ、井上君ガ二回マデモ讀上ゲラレタルガ如キ調査機關ヲ設ケルト云フコトヲ明言シ、又國務大臣トシテノ文部大臣ハ増額ノ必要ヲ認メテ、早晚何等カノ方法ニ依テヤルト云フコトヲ明言シテ居ラレル、然ルニ其政府ノ言明ノアツタ後ニ於テ、諸君ハ此案ヲ携ヘテ阿容々々ト議會ニ提出セラレタ其真意如何ト云フコトヲ、私ハ疑フノデアアル、政友會諸君ノ意見ニ依レバ、政府ガ考慮中デアアルカラ、建議案ヲ出ス必要ガ無イト斯ウ言フ、然ルニ國務大臣——諸君ノ黨カラ出テ居ル國務大臣ガ立派ニ言明シテ居ル、早晚實行スル積リデアアルト云フ、ソレヲ更ニ政友會諸君ガ疑々シク建議案トシテ、昨年はハ諸君ノ所謂吸收シ得ル建議案ガアルニモ拘ラズ、態、調査シテ後ニ必要ガアラバト云フガ如キ、院議ヲ裏切ツタ言葉マデ添エテサウシテ建議案ヲ出サレルト云フ必要ハ何所ニ在ルカ、私ハ疑フ、(拍手起ル)併シ鬪デ考ヘテ見レバ、甚ダ失禮ナル申分デアアリマスルガ、所謂食言問題トヤラデ八釜シイ當時デアリマスカラ、中橋文相ガ之ヲ言明セラレテモ、尙ホ諸君ガ御安心ニナラヌカラ御提出トナツタト云フナラバ、是ハ一種ノ文部大臣ニ對スル不信任案トシテ提出ノ理由ガアルト思フ、(拍手起ル)旨イマ、ト呼フ者アリ、若シ然ラズシテ總理大臣ガ言明シタトキニハ宜シイガ、文部大臣ガ言明シタトキニハ又必要ガアルト云フノザヤナイカ、二ツナガラ其意味デアナイト言ハレルナラバ、究極唯ダ一ツノ解釋ノ外ハ無イ、即チ反對黨ノ出シタル建議案ハ、政府考慮中、而モ實行甚ダ覺束ナイ所ノ現政府ノ考慮中ノ名ノ下ニ之ヲ葬リ去リ、自黨カラハ政府ノ言明ニ遲レテ、之ニ追隨シテ阿容々々ト建議案ヲ出シテモ、之ヲ委員付託ニセニヤナラヌ即チ多數黨ノ威力ヲ濫用サレタ證據デアアルト謂フテモ宜イト私ハ思ハレル、(拍手起ル)何レノ意味ニ於テ此案ヲ御提出ニナリマシタカ私ハ更ニ了解出來ナイ、又井上君ガ只今此豫算ノ關係其他ヲ述ベラレマシタリ、或ハ調査機關ノ事ニ就テ、教育費ノ節約方法ニ就テ述ベラレマシタガ、免角私ノ言論ヲ御嫌ニナル與議長ガ、又討論ニ涉ルト云フヤウナコトヲ言フカモ知レマセヌカラ、ソレハ暫ク讓歩致シマシテ、

只今ノ點ニ就テ明白ナル御答ヲ願ヒタイ、然ル上ニ於テ吾ハ又他人ト代リマシテ、動議ヲ提出シテ見タイト思フノデアリマス

○議長(與繁三郎君) 井上君

〔井上角五郎登壇、拍手起ル〕

○井上角五郎君 私人樋口君ノ質問ニ御答ヲ致シマス、其御答ヲスル前ニ當テ、私が先刻爰ニ列舉シタル數字ニ就テ、間違ガアルト云フコトヲ指摘セラレマシタ、私ノ數字ガ間違テ居ルカ居ラスカト云フマデモ、氣ヲ付ケテ御聽下サツタコトニ就テハ感謝致シマスガ、御氣ノ毒ナガラ御質問ノ材料トシテ御舉ニシタ數字ソレ自身ガ、間違テ居ルノデアリマス、私ハ市町村費合計一億……(五億々々)間違タ、井上老イタリト呼フ者アリ笑聲起ル)斯ニ申シマシタ、市町村費が大正九年度ニ於テハ一億七千九百三十七萬圓、大正九年度ニ於ケル教育費ガ一億四千幾許デハナイカト云フノカ樋口君ノ御尋、私ハ市町村費ト申シマシタ九年度ノ市ノ教育費ガ三千六百四十萬圓、町村ノ教育費ガ一億四千二百六十三萬圓、合計シテ市町村ノ教育費ガ一億七千九百三十七萬圓、貴方ノ仰シヤルノハ、町村費ガデアリマス、是ガ一ノ數字ノ間違、其次ニハ……

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 靜ニ

○井上角五郎君(續) 斯様ニ從來ノ關係ニ依ル恩給ニ依ルモノ、教育基金ノ交付ニ依ルモノ、並ニ法律布達ニ依ルモノガ合計シテ千二百六十五萬圓、尤モ現内閣ガ一年現役云々ト云フ法律ヲ出シテ、其法律ガ此所モ通過シテ居ルシ、豫算モ通過シテ居リマスケレドモト申シマシタ、即チ自ラ省イテ申シテ居ル、省カナカッタ點ガ豫算ノ中ニマダアルト、仰々シク豫算ヲ御覽ニナツタラシイ御答、ハ片腹痛イヤウニ思フ、モウ一ツ其法律ノ制定ノ當時ノ、大正七年度ノ數字ハ能ク判ラナカッタガ、概算六千萬圓ノ中、三千万圓ヲ俸給トシテ取敢ヘズ千万圓出スガ、半分マデハ補助スル積リデアルカラ、更ニ千万圓増ス積リデアルト云フコトニナツテ居タト斯ウ申シタノデアアル、貴方ノ仰シヤルノハ精密ニ言ツテ過ギナイ、私ノ言ツテハ簡略ニ言ツテデアリマス、是ダケデアリマスレカラ御質問ニナリマシタ第一ハ院議ヲ忘却シタト云フ點、第二ハ先例ニ反イタト云フ點、第三ガ全國町村長ノ希望ヲ裏切ルト云フ點、此全國ノ町村長ノ希望ヲ裏切ルト云フ點ニ就テハ、多クノ議論ヲ聽キマセヌノデアリタガ、院議ヲ忘却シタト云フコトノ材料トシテハ、義務教育費補助ノ建議案ヲ出シタト云フニ、俸給ヲ約四千万圓ト見テ、二千万圓ヲ補

助シテ貫ヒタイト云フ建議案ヲ出シタノデハナイカ、又其後ニ寺内内閣ガ法律案ヲ出シタト云フニモ、取敢ヘズ千万圓ノ補助ニナツテ居ルケレドモ、行々半額即チ二千万圓ニナツテ居ルノデハナイカ、其後文部大臣ガ斯様ナ事ヲ言ツタコトガアル、又議會ガ斯様ヲ要求シタコトガアル、其院議ニ反クデヤナイカ、是ハ其院議ト云フ事ニ、餘リ御拘泥ナサル必要ハ無イト思フ、其時今日ノ此財政ト云フ事ヲ考ヘテ居ツカ居ラナカッタカ、ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、今日ノ財政ニ於テハ吾々ハ斯様ニスルコト、當然ナリト思フカラ即チ斯様ニシテ居ルノデアアル、サウシテ貴方ガタハ、成程何時マデモ古イ事ヲ能ク覺エテ居テ、院議ヲ重ンズラシイケレドモ、先刻樋口君ハ、吾々ハ決シテ教員俸給バカリヲ目的ニシテ居ルノデヤナイ、教育費全體ノ補助ヲ望ンデ居ルノデアアルト云フコトヲ、只今ノ議論ノ材料トシテ御述ニナリマシタガ、貴方ガタノ御出シニナツタ案ノ理由書ヲ讀ンデ見マスルト「國民教育ノ振興ヲ圖ルヘク小學校教員ノ待遇ヲ改善シ品位ヲ向上スルハ刻下ノ急務ナリ然ルニ之ニ要スル費途ニ就テノ負擔ハ現在ニ於テ市町村ノ教員ノ俸給ヲ増シテヤリタイ、所ナリ依テ云々、小學校ノ教員ノ俸給ヲ増シテヤリタイ、ヤリタイケレドモ金ガ無イ之ヲ補助シテ貫ヒタイト云フコトノ外ニ此理由書ニ何ガ書イテアル、御自分ノ出シタ案ダケハ能ク御覽ニナツテ置ク方ガ宜カラウト思フ(拍手起ル)ソレカラ第二ニ樋口君ノ尋ネラレルノハ先例ニ反ク、マア先例ニ議會ハ先例ヲ重ンズルガ宜シイガドウ云フヤウニシテ先例ニ反クノデアアルカ、只今仰シヤルノハ、何デモ憲政會カラ何カト云フ建議案ヲ御出シニナツタ時ニ、政友會ノ方デハ之ヲ否決シタ、政府ハ考慮中デアラナラバ、何モ出サヌデモ宜イデアナイカト云ウテ否決シタ、政府ガ考慮中デアルト云ウテ居ルノナラ、何モ出サヌデモ宜カラウ、御九千万、吾々モ其通り、今回ノ吾々ノ出シタ案ハソレガ爲メニ、私が最初ニ朗讀シテ諸君ニ聽カセテ置イタ、モウ一度朗讀シマセウカ、政府ハ本議會ニ於テ言明シタルカ如ク速ニ調査機關ヲ設ケ(ソノナコトハ必要ガナイ)ト呼フ者アリ、此事ハ甚ダ急ヲ要スルカラ、政府ノ考慮中デアハナイ、政府ハヤルト決心シテ言明シタノデアアラウガ、一日モ早クヤテ呉レト云フノデアアテ、政府ガ考ヘテ居ル事ヲ徒ラニ其意見ヲ迎ヘテ出シタノト事變ツテ、政府ガ考ヘテ居ル、ヤルト思フテ居ルコトハ信ジテ居ルガ、早クヤテ呉レロ——何ガ先例ニ反キマセウ、假リニ先例ニ反イタ所ガ差支ハナイノデアアルガ、少シモ先例ニハ反シテ居ルノデアアリマセヌ(反シテ居ル)ト呼フ者アリ、要スルニ全國市町村ノ希望ヲ裏切ルト云フ第三ノ點ハ最初ニ掲ゲラレタガ、何所ガ希望ヲ裏切レテ居ルカ御説明ニナリマセヌケレ

ドモ、全國ノ町村長ガ必ズヤ教員ノ俸給ヲ増加セヨ、其増加スルモノヲ助ケテ呉レト云フ一本槍デハナクシテ、教育費ガ如何ナル形式ニ於テ減テ、爲ニ地方ノ負擔ガ減ジ、爲ニ父兄ノ負擔ガ減レバ、即チ仕合ナリト全國ノ町村長ガ思フテ居ルノデアアテ、本員ノ意思ハ恰モ是レ全國ノ町村長ノ意思ナリト茲ニ斷言スルコトヲ憚リマセヌ、是ダケ申シテ置キマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 高田君……高田君君モ發言者ニ對スル質疑デゴザイマス

〔高田君登壇、拍手起ル〕

〔其人モ長イ人デスカラ御注意ヲ願ヒマス、脱線スルナヨト呼フ者アリ〕

○高田君 只今政友會諸君ノ御出シニナツタ建議案ニ就キマシテ、井上角五郎君ヨリ、而モ舊イ人デスカラ、舊イ事ヲ御承知ト見エマシテ

〔與議長議長席ヲ退キ粕谷副議長代リ著席〕

長々ト御講釋デアリマシテ、尙モ提案ノ理由モ御説明ニナリマシタケレドモ(モトト高聲ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ)私共甚ダ要領ヲ得ナカッタ點ガアリマスルカラ(聞エナイヨト呼フ者アリ)更ニ伺ヒタイト思ヒマス、聲ヲ出セト仰シヤレバ幾ラデモ出シマスヨ(大ニヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ)第一井上君ニ伺ヒタイ事ハ、只今説明ナサツタ最後ノ御言葉トシテ(井上角五郎君「モウ少シハキリ仰シヤツテ下サイ」ト呼フ)整理節約ヲスレバ、現教育費ニ對シテ三四割ノ節約ガ出來ル見込デアアル、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、是ガ私共甚ダ意外ナ、私共ハ中學生時代ヨリ明治二十四五年ノ頃、井上角五郎君ガ議會ニ於テ豫算論杯ヲ爲サレマシテ、非常ニ私ハ斯ウ云フ數字ヤ何カニ就テ御承知ノ方ト思ヒマシタ所ガ、案外ニモ教育界ノ事情ノ通ジナイ人デゴザイマス(拍手起ル)驚入リマシタ、殆ド低能デアアル、(其通りダ)ト呼フ者アリ(拍手起ル)低能ト斷定シテ差支ナイ、何故私ガ左様ナ事ヲ失禮ナガラ先輩ノ井上君ニ申上ゲルト云ヘバ、如何ニモ事理ニ暗イ、全國ノ市町村ノ小學校教育費ハ、マア百万ニ百万ノ違ハ宜シイト致シデモ、一億八千万圓ト見マセウカ、大差ナイト思ヒマス、一億八千万圓ノ中小學校教員ノ其俸給ガ一億五千万圓デアアル、七千五百万圓ガ教員給以外ノ一切ノ設備費等デゴザイマス、一億八千万圓ノ中三割ヲ引キマス、三割ハ五千四百萬圓デアアル、一億八千万圓ノ中カラ、井上君ノ所謂整理節約スベシト稱スル五千四百萬圓ヲ引ケバ幾ニナリマス、一億二千六百万圓デアリマス、其一億二千六百万圓カラ教員給ハ減ラサスト仰シヤイマシタケレドモ、一億二千六百万圓カラ一億五百万圓ヲ引クト二千万圓デアアル、今日ハ如何ニ物價ガ低落ニ傾クト雖モ

如何ニ整理節約サレテ居ルト雖モ、小學校教員給ニ手ヲ觸レズシテ、二千百万圓ヲ以テ金國一萬二千ノ市町村ノ設備其他一切ヲ支辨スルト云フコトハ何所カラ出來マス、(拍手起ル)餘リ詭辯ヲ弄スルト國家ヲ誤リマスヨ、爾來井上君ニ御注意ヲ願ヒマス、(判タカ)ト呼フ者アリ)更ニ政友會諸君ノ御提案ハ、整理節約ヲ第一トスルト云フコトゴザイマス、同時ニ若シ整理節約ヲ爲シテ、尙ホ市町村ノ負擔ガ過重ナル場合ニハ、國庫ヨリ或程度ノ金ヲ出シテ吳レトスウ云フ二ツノ事ガアリマス、其半面ヲ言ヘバ即チ政友會ノ諸君ハ政府ノ意思ヲ迎合シテ、整理節約ノ餘地アリトスルノデゴザイマス、同時ニ又其半面ヲ言ヘバ現在ノ市町村ノ教育費ハ甚ダ贅澤ナル、無駄ノ費用ガ澤山アルカラ、之ヲ整理節約ヲセヨトスウ云フノデゴザイマス、所デ起ル疑問ハ、如何ナル程度ニ於テ整理節約ヲ爲シ得ルヤ成程井上君ノ只今御話ニナリマシタル事ハ二三アリマス、私共大抵其邊ト思フ、町村ノ合併、及學校ノ合併、是ハ出來マセウケレドモ、併ナガラ町村ノ事情、町村ノ人ガ學校ニ對スル觀念等ヨリ言ヒマシテ、如何ニ井上君ガ駭イデモ、政友會ガ多數ヲ駭イデモ、容易ニ町村ノ合併、及學校合併杯ハ出來タモノデアリマセヌ、(拍手起ル)シレハ或方針ヲ示シテ、而シテ五年十年二十年ノ後ニ一定ノ方針ヲ示シテ、徐々ニヤレバ出來マセウケレドモ、今日明日ニ調査會ヲ開イテ其方針ヲ決定シテ所ガ、到底出來ルモノデアラゴザイマス、是モ餘リニ事理ニ暗イ、結局町村合併學校合併モ、之ヲ直チニ實行スルコトハ到底不可能ノ事デアルト云フコトハ御諒承ヲ乞ヒタイ、然ラバ二部教授ノ問題、或ハ三學級ニ教員ノ問題、此二部教授、或ハ三學級ニ教員ノ問題ニ就キマシテモ、詳シク申上ゲマセヌデモ、教育界ニ於テハ既ニ定論ガアリマス、到底一學級ニ一教員ニ負擔セシメテ、現在ノ通り午前午後ノ時間ヲ以テヤル、現在ノ制度以上ノ效果ヲ舉ゲルコトハ出來ズ、確ニ或教育上ノ效果ヲ減ズルモノデアルト云フコトハ教育界ノ定論デアアル、井上君ハ二部教授或ハ三學級ニ一教員說ニ依テ出來ルヤフナコトヲ言ハレマスガ、何處ノ教育家ガソナコトヲ言ヒマスカ、是モ絶對不可能デアアル、但シ教育ノ效果ヲ損ズルナラバ別デアアル、併シ教育ノ效果ヲ損ズルコトハ出來マセヌ、又文部省邊リノ人ノ話ヲ聽クト、斯ウ云フ事モアルサウデゴザイマス、極メテ邊鄙ナ土地ニ於テ一學級ノ生徒ガ七十人ノ定員マデニスベキガ當然デアアルニ、二三十人位ヲ一學級ニシテヤレ居ル地方ガアル、是ハ整理ヲスレバ幾分ノ餘地ガアル、斯ウ云フ話モ承クコトモアル、是ハ幾分アリマセウ、併ナガラ極メテ僅カノモノデアリマス、是ハ文部當局者ニ

聽キマシテモアルサウデゴザイマスガ、極メテ僅カデゴザイマス、尙ホ又設備費及需要費等ヲ整理スルコトガ出來ルト云フ、是ハマサカ中橋文部大臣ト同一ノ黨派ニ居ル井上君デゴザイマスカラ、左様ナ事ヲ仰シヤルト思ヒマセヌガ、是ニハ面白イ話ガアル、此間此問題ニ關係スル建議案ノ委員會ガ如何ナル程度ニ於テ政府ハ整理ノ餘地アリヤ、斯ウ云フコトヲ質問シマシタラバ、文部大臣答ヘテ曰ク、ドウモ近頃學校ノ建築ナドガ贅澤ニナリテ困ルカラ、成ベク節約ヲサセタイソレニハ先ツ昔ノ明治初年ニ戻ラテ、寺デモ借リテヤラセタイト思フ、斯ウ云フ事デ文部大臣ガ仰シヤリマシタ、井上君ノ御說モ其寺說デゴザイマセウ(拍手起ル)併ナガラ是モ驚入タ消極論デゴザイマス、是ハ文部大臣ガ確ニサウ申シタノデ、速記録ヲ御覽ニナレバ判ル井上君モ其御說デセウ、明治五六年ノ我國ノ教育制度制定ノ當時ニ立戻ラテ、近頃ニナリテ學校ヲ建テナイデ、寺院ヲ以テ之ニ充テラナド、ト云フコトハ、甚ダ以テ或主義トシテハ宜シイカモ知レヌガ、私ハ是モ實行不可能ノ事ダト思フ、要スルニ整理節約ノ餘地ハ、前私ガ申上ゲタ通り無イト思ヒマスケレドモ、如何ナル點ニ於テ整理節約ノ餘地ガアルカ、尙ホ詳細ニ承リタイ、先程井上君ノ此所デ御說明ニナリマシタ事ハ、決シテ整理節約ノ餘地ハ無イコトヲ證明シテ居ルモノデアラ、出來ナイ事ヲ仰シヤレ居ルノデゴザイマス、更ニ又進んで申シマスレハ、例ヘバ幾分ノ整理節約ノ餘地ガアリトシテモ、故ラニ之ガ爲メニ調査會ヲ開ク必要ガ何所ニアル、先程提案者タル井上君ハ、山本内閣ガ行政整理ヲシタ其時、市町村ノ教育費ノ一部分ガ、或程度マデ減ラタト云フコトヲ申サレマシタケレドモ、成程ソレハ事實減リマシタ、千万圓許カリ……是ハ併シ調査會ヲ設ケタノデアリマセヌ、行政部ノ相當ノ活動ニ依テ問題ハ解決シタノデ、故ラニ教育調査會ナド、云フモノヲ設クル必要ガナイト云フコトヲ、形ニ於テ證明シテ居ル、唯ダ千万圓ヤ二千万圓ノ餘地ガ假令アルニシタ所ガ、何故ニ調査會ナドヲ設ケマスカ、文部省、或ハ大藏省、内務省ノ相當ノ行政機關ヲ以テ相當ノ活動ヲスレバ、故ラニ調査會ナド、云フモノヲ設クル必要ハ私ハ更ニ無イト思ヒマス、何故ニ調査會ヲ設ケナレバ整理節約ガ出來ナイノデアアルカ、若シ是スキノ事ノ整理節約サヘモ、調査會ヲ設ケナレバ出來ナイト云フナラバ、愈、以テ文部大臣ガ無能デアルト云フコトヲ立證スルモノデアリマス、(拍手)更ニ私ハ提案者ニ伺ヒタイ事ハ、前申上ゲマシタ通り、整理節約ヲシテ尙ホ足りナイトキニハ、市町村ノ教育費ノ爲メニ國家ヨリ出セヨト云フコトデアアルカラ、現在ノ狀況ニ於キマシテハ、市町村ノ困難ノ狀況ヲ救済スルノ必要ナシト提案者ハ思

召スノデアアルヤ、吾々ノ意見ハ市町村ノ教育費ガ非常ニ増加シテ居ルカラ、一刻モ早ク大正十年度ヨリ事ヲ救済スベク國家ヨリ金ヲ出ス必要ガアルト云フノガ、吾々ノ意見デアアル、建議ノ意思デアアル、然ルニ提案者タル政友會諸君ハ、整理節約ヲセヨ、整理節約ヲシテ足りナイトキハ國家ヨリ出セト云フノデアアルカラ、現在ノ狀況ニ於テハ、市町村ノ教育費ハ贅澤デアアルカラ之ヲ節約セヨト云フ方面カラ云ヘバ、現在ニ於テハ、負擔ニ堪ヘルノデアアル、大正十年度十一年度ニ於テハ、決シテ國庫ヨリ増加支出ノ必要ナシト云フ意見ニナリマスガ、果シテサウデゴザイマスカ、(拍手起ル)ソナ事ヲ誰ガ言ク(ト呼フ者アリ)更ニモウツ伺ヒタイ事ハ、調査機關ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ成程速ニ設ケルト云フコトデアラゴザイマスガ、併シ何時終了ヲ告ゲサセル御見込デアアルカ、速ニ設ケタバカリデ、往拜日ヲ送ッテ二年モ三年モ掛ッテハ到底何ノ役ニモ立チマセヌ、是ハ要スルニ私共判斷致シマスノニ文部大臣ガ前數回ニ互ツテ、國民ニ國庫負擔額ヲ増額スルト云フ稟書ヲ爲シテ居ル、先程樋口君モ言フ通りデアアル、其當時ニ於キマシテハ、即チ昨年マデハ、建議案ヲ出スノモ、所謂政府與黨ニ反對スル吾々及國民黨ノ人デアッタ、故ニ有エル陋劣ナル手段ヲ執テ握潰シ、或ハ否決等ヲ爲シタノデアアル、所ガ今年ハ打ッテ變テ政友會ニ黨籍ヲ置ク町村長等ガ多ク參テタカラ、此口塞ギニ已ムヲ得ズ蟹ガ穴ニ逃ゲルヤウニ(笑聲起ル)國民ノ包圍攻撃ニ會フ、其調査會ト云フ大穴ニ逃レントスルヤウニ見エルト云フコトデアリマス、(ヒヤ)ト拍手)以上數點ニ就キマシテ提案者タル井上君ノ御說明ヲ請ヒ更ニモウ一點樋口君ノ伺タト同一ノ意味ニ於テ、確メタイト思フノデアリマス、ソレハ第四十一議會ニ於テ吾々ガ教育振興ニ關スル建議案ノ一節ニ、此國民教育ニ對スル國庫ノ負擔額一千万圓増セヨト云フ建議案ヲ出シマシタ、其時ニ即決否決シテシマッタデ、其時ノ岩崎君ノ否決ノ理由ハ、政府ガ此事ヲ實行スベク考慮中デアアルカラ、政府ガ考慮スルモノハ、建議案ヲ出ス必要ハ無イト云フコトガ、否決ノ唯一ノ理由デアッタ、果シテ然ラバ今回ノ教育調査機關ヲ設クルト云フコトハ、總理大臣モ、文部大臣モ、此議場デ明カニ聲明シタ事デアアル、考慮ドコロデアナイ明カニ聲明シタ、然ルニ既ニ委員會ニ於テ聲明シ、本會議ニ於テ公言シタルノヲ、其意ヲ迎合シテ調査機關ヲ設置スルト云フ建議案ヲ出スト云フ意味ハ、四十一議會ニ於テ唯ダ首相ノ考慮デサヘモアノ建議案ヲ否決シタト云フコトハ、甚ダドウモ一致シナイ態度ニナル(拍手)ソレハ諸君ハ成程彼モ一時此モ一時ト逃ゲルデゴザイマセウ、併ナガラ如何ニモ其態度ガ卑劣デアアル、四十一議會ニハ原總理大臣ガ考慮中デアアル



ノ市町村ノ教育ノ狀況ヲ能ク御知りニナラヌ(ヒヤ)「其通り」ト呼フ者アリ)ニツノ學校ヲ一ツノ校長ニ持タセルトカ、或ハ教員ヲモウ少シ准教員、雇ニシテモ宜シトカ、如何ニモ怪シカラヌ事ヲ仰シヤル、吾々カラ見レバ現在ノ小學校教員ノ素質ハ、寺内内閣及政友會内閣ガ、物價騰貴ニ依テ各俸給者ガ生活ノ困難ヲ來シテ居ル場合ニ、其救濟時機ヲ誤タルガ爲メニ非常ニ其素質ガ惡クナリト云フコトハ、天下一般ノ想到スル所デアル(拍手起ル)是ハ精シイ統計ヲ見マシメテモ判リマス、現在ノ小學校教員ノ三割ハ、代用教員若クハ准教員デアル、正教員トスベキガ本則デゴザイマス、文部省、何ト仰シヤル、成程私ハ代用教員、准教員必ズシモ成ラス、成ベク正教員ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトハ、始終訓令ヲ出シテ居ル、成程私ハ代用教員、准教員必ズシモ全部惡イトハ申上ゲマセヌ、其中ニハ最も優良ナル人モアリマスケレドモ、大體ニ於テ代用教員、准教員ト云フ者ハ正教員ノソレニ比較シテ素質ガ惡イト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイト思フ、(同感)ト呼フ者アリ)斯ノ如ク全國ノ小學校ノ教員ハ、物價騰貴ノ關係ヨリ生活ノ困難ヲ來シテ其素質ガ惡クナリ、是ハ何トカ一二年ノ中ニ改善シナケレバナラヌ、即チ師範學校ニ於テモ多數ノ小學校教員ヲ養成シ、成ベク立派ナルヲ、國民教育ノ指導者トシテ入レナケレバナラヌト云フ状態デアルトスレバ、サウ云フ小學校教員ノ俸給ヲ減ラヌトコトコトハ、三割ノ准教員代用教員ヲ正教員ニシテ、更ニ數百萬圓ノ金ヲ出サナケレバ其要求ヲ充タスコトガ出來ナイノデアル(拍手起ル)斯様ニ分リ切ク實狀ニ國民教育者ノ状態ガ在ルニ拘ラズ、而モ教育ノ振興ヲ天下ニ宣明シタル政友會ノ代表演說ニ、學校ハ成ルベク寺内閣ニ合ハセルベシト文部大臣ハ言ヒ、井上君ハ成ベク費用ヲ節減スル爲メニ、准教員代用教員ニシテモ宜イト先程仰シヤイマシタ、而シテ一億八千萬圓ノ三四割ヲ減ゼヨト云フガ如キコトハ、教育上ノ效果ヲ減ゼズシテ、何所ヲ押セバソノ事ガ言ヘマスカ(拍手起ル)詭辯ヲ弄スルモ此ニ至テ極マレリト謂フベシ、途方モナイ間違デアル、(拍手起ル)「シカリヤレ」ト呼フ者アリ)私ハ此意味ニ於キマシテ、先程ノ三割減ハ何所ヲ根據シテ實行出來ルカト云フコト、更ニ教員ノ俸給ガ多ク益々吾々ハ増サナケレバナラヌト思フケレドモ、教育上ノ效果ヲ減ゼズシテ、現在ノ俸給額ヲ以テ小學校教育ヲ十分ニスルコトノ出來ル御見込ガ、果シテ井上君アリヤ否ヤト云フコトヲ何テ置キマス(拍手起ル)

○副議長(粕谷義三君) 井上角五郎君

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔井上君登壇スル前ニ其處ニ佐藤君ガ居ルカラ相談シテ行ケ、相談シテ耻ヲ曝ラセト呼フ者アリ) ○副議長(粕谷義三君) 御願シテ置キマスガ、答辯中ハドウゾ静肅ニ御聽取リテ願ヒマス

〔「ハイ畏リマシタ」答辯前ハ宜シウゴザイマスカトト呼フ者アリ〕

○井上角五郎君 私ノ言葉ガ十分ナラザル爲メニ、度々御質問ヲ煩ハシマシテ甚ダ：(恐入ツカ)ト呼フ者アリ)寧ロ私ノ眞意ヲ判ラナイノ恐入リマス、私ノ演說ノ趣旨ハ極ク簡單ニ今一度アノ點ヲ御聽取リテ願ヒ置キマス、(詳細ニ願ヒタイ)ト呼フ者アリ)即チ整理節約スレハ先例ニ依テ見テモ、即チ山本内閣當時ノ事ニ依テ見テモ、又例ハバス様ナ事ヲシテモ幾ラカ校舎ガ減リ、幾ラカ教員ノ數ガ減ル、私ハ決シテ正教員ガ減ルベキ所ヲ准教員ニヤラストカ、女子ニヤラストカ云フ意味デハナイ、サウ云フ事ヲシテモ(言ウタ言ウタ)ト呼フ者アリ)二割乃至三割マテノ金ガ減リ得ルカモ知レヌ、但シ其金高ハ私ハ舉ゲテ居リマセヌ、前ノ例ニ依テモ一割足ラズハ減ラズカラ、行政整理ヲヤツタナラバ其位ハ無論行ケル、其以上減リ得ルダラウト斯ウ云フコトヲ申シタ、ソレデケテ御承知下サテ、又俸給一必シモ教員ノ優待ト云フ事ニ就テハ、何所迄モ優待スルケレドモ、人數ニ於テハ必シモ減ラヌトモ云ヘヌノデアリマスカラ、高田君ノ言フガ如キ計算ニモナラヌト斯ウ申上ゲテ居ルノデアリマス、其邊ヲ能ク御了解下サタナラバ、私ハ絶對的ニ必ズ三割ヲ減ラストカ云フヤウニ、申シタノデハナイコトガ御解リニナレバ、左様ナ免角其點ニ就テ御疑惑ヲ生ズル道理ハ無イダラウト思ヒマス是ダケヲ申上ゲテ置キマス、其以上ハ議論デゴザイマス

〔「サキト違フザヤナイカ」議長々々々」答辯ニナラヌトト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○副議長(粕谷義三君) 星島二郎君

〔「議長々々」無用々々」ト呼フアリ〕

○副議長(粕谷義三君) 靜肅ニ——高田君ニ一言致シマスガ、從來ノ慣例ニ依リマス、質問ヲ二度マデハ宜シウゴザイマスガ、ソレ以上ハ許シマセヌ、二度以上許シタコトハ先例ニアリマセヌ

〔議長々々々」今ノハ答辯ニナテ居リマスカ」答辯ガ無イノダ」答辯ガアツ場合ニハ宜シイガ今ノハ答辯デナイトト呼フ者アリ其他發言スル者多ク、議場騷然〕

○小山松壽君 議事進行ニ就テ一言致シタイ、只今議長ハ質疑ハ二回ヲ超ユルコトハ出來ヌト云フ慣例デアルト云

フ御話デアリマスガ、現ニ最近ノ此議會ニ於テ、與議長ハ三回マデ御許シニナツタ先例ガアリマス、尙ホ先刻三木君ト宮古君トノ質疑應答モ、今ノ先例ヲ追ウテ居ルト考ヘマス、(拍手起ル)與議長ガ前回ニ於テ其質疑ヲ重シジテ、先例ヲ超エテノ御許可ガアリ、又現ニ先刻此議場ニ於テ、質疑應答ガ換ハサレタコトノ先例ガアルナラバ、之ヲ御許シニナラヌト云フコトハ、甚ダ其處置當ヲ得ナイト思ヒマス、(拍手起ル)高田君ノ井上角五郎君ニ對スル質問ノ第一點ハ、數字ヲ舉ゲテ質問シテ居リマス、即チ一億八千萬圓ノ内三割ヲ減ジタト云フ此數字ニ對シテ、具體的ニ答辯セヨト追テ居リマス、其答辯ヲ終ラズ要領ヲ得ナイ内ニ、議長ハ直チニ先例ニ依テト云フ御話デアリマス、先例ハ斯ノ如シ、而シテ其答辯ハ要領ヲ得ザル事尙ホ斯ノ如シトスルナラバ、此場合御許シニナツテ差支ナイト思フ

〔議長々々々」許スベカラズ」公平ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ議場騷然〕

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ——本日ノ質疑ハ尙ホ高田君ノ外ニモゴザイマス(有ツタテ構ハヌトト呼フ者アリ)只今ノ高田君ニ對シマシテハ、先例ハ私ノ承知致シテ居ル範圍ニ於テハ只今申上ゲタ通りデアリマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)ソレ故ニ斯ノ如ク取計ヲデアリマス、併ナガラ此取計ニ對シテ御異議ガゴザイマスレバ、之ヲ院議ニ諮ウテ決シマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)「ソレハイカヌ」議長橫暴」(公平ニヤリ給ヘトト呼ヒ其他發言スル者多ク議場騷然)

○小山松壽君 最後ニ數ヲ以テ争フト云フコトハソレハイカヌ——私ノ申上ゲル事ガ判ラナケレバ、議長ヨリ御取次ヲ願ヒテモ宜シイ

○副議長(粕谷義三君) 諸君、宣言致シマス、只今議長ノ取計ニ對シマシテハ、種々ナル御議論モアルヤウデアリマス、ルガ、段々議場ノ光景ヲ察シマス、只今ノ高田君ノ御質問ニ對シテ、井上君ノ御答辯ガ未ダ十分ニ高田君ニ徹底セザリシ點ガアルト云フ事デアリマス、ソレ故ニ此場合前ノ宣言ヲ取消シテ、重ネテ高田君ニ發言ヲ許シマス(拍手起ル)

〔廣岡宇一郎君議長議事進行ニ就テ發議ガアリマス」ト呼ヒ其他發言ヲ求ムル者多ク議場騷然〕

〔高田松平君登壇〕

〔「議事進行ニ就テ」言シマス」登壇シマシタ」ト呼フ者アリ〕

○高田松平君 僕ノ質問ガ終テカラシ給ヘ、直グダ、私ガ發言權ヲ得テ居リマス

〔此時議長々々」ト呼ヒ發言ヲ求ムル者多ク議場騷然〕

〔此時議長々々」ト呼ヒ發言ヲ求ムル者多ク議場騷然〕

○副議長(粕谷義三君) 高田君ニ發言ヲ許シマシタ  
 「議長退場ヲ命ズベシ」議長廣岡君ニ退場ヲ命ズ  
 ベシ」馬鹿ヲ言フナ」議長シカリヤレト呼フ者アリ  
 議場騒然)

○副議長(粕谷義三君) 廣岡君、後ニ願ヒマス  
 ○高田君(續) 私ハ議長ノ許可ヲ得テ當然壇上ニ  
 在リマスルカラ、唯今ヨリ井上角五郎君ニ尋ヌル質問ヲ更  
 ニ繼續シタイト思ヒマス、(無用々々)ト呼フ者アリ、議場騒  
 然)井上角五郎君ノ本員ノ質問ニ對スル答辯ハ、更ニ要領  
 ヲ得ナイノデアリマス……

○副議長(粕谷義三君) 暫時休憩ヲ致シマス——休憩致  
 シマス  
 午後四時四十九分休憩  
 午後五時十六分開議

○副議長(粕谷義三君) 休憩ニ引續イテ會議ヲ開キマ  
 ス、休憩前ノ會議ニ於キマシテ、議場ノ光景ガ遂ニ休憩スル  
 ノ已ムナキニ至リマシタコトハ、甚ダ私ノ遺憾ト致ス所デアリ  
 マス、茲ニ一言申述ベテ置キタイト思ヒマスノハ、先刻高田君  
 ノ御發言中ニ、議長ガ擅ニ休憩ヲ宣告致シタト云フヤウニ  
 ナッテ居リマスガ、其時ニ於テ議長ハ、高田君ニ暫ク發言ヲ  
 御待テ願フヤウニ申シタ積リデアリマスガ、如何ニモ其時ハ  
 議場ガ混雜ヲ致シテ居リマシタ爲メニ、高田君ニ其事ガ聞  
 エナカクト思フノデアリマス、右ノ次第デアリマスカラ、此點  
 ハ諸君ノ御諒承ヲ乞ヒタイト思ヒマス、尙ホ廣岡君ヨリ議  
 事進行ニ就テ發言ヲ求メラレタノデアリマスガ、其時ハ既ニ  
 高田君ニ發言ヲ許シタ時デアリマス、已ムヲ得ズ議長ハ廣  
 岡君ニ、高田君ノ發言後ニ於テ發言ヲ許スト云フコトヲ申  
 シマシタケレドモ、是亦議場ノ騷擾ノ爲メニ、廣岡君ニ此宣  
 言ガ徹底致サナカクヤウニ考ヘラレマス、右ノ次第デアリマ  
 スカラ、是ヨリ休憩前ニ引續キマシテ高田君ニ發言ヲ許シ、  
 其後ニ於テ又廣岡君ノ發言ヲ許ス積リデアリマスカラ、ドウ  
 ノ左様御承知ヲ願ヒマス、高田君(拍手起ル)

○高田君(續) 先程私ノ井上角五郎君ニ對スル質問中  
 休憩ノ宣告ニナリマシテ、久シキ間立往生ヲ致シマシタヤウ  
 ナ譯デアリマス、併ナガラ是モ私ガ數年來教員ノ品位ノ向  
 上ト市町村ノ政府ノ困難ヲ救フガ爲ニ——此困難ヲ救フ  
 ガ爲メニ、數年來唱道シタル問題ノ爲メニ此議場ニ於テ立  
 往生ノ姿ヲ呈シタコトハ、寧ろ私ノ光榮トスル所デアリマス  
 ス(拍手起リ)「謹聽」ト呼フ者アリ)併テ私ガ井上角五郎君  
 ニ質問致シマスル事ハ、至テ簡單ナ問題デゴザイマス、再度  
 伺ヒマシタケレドモ、頭腦明晰ト稱スル井上君ガ、如何ニモ

明答ヲ與ヘ兼ネルノヲ遺憾ト致シマス、ソレハ數字ノ問題デ  
 ゴザイマス、三四割ノ減ヲ爲ス見込デアアル、斯ウ云フコトデ  
 タレドモ、假リニ井上君ノ御説ノ通り、三四割ノ——最低限  
 度ノ三四割ヲ取リマシタ所ガドウ云フ結果ニナリマスカ、全國  
 ノ市町村ノ教育費ノ總額ハ一億八千万圓デアアル、其三四  
 ハ五千四百萬圓デアアル、一億八千万圓ヨリ其五千四百萬  
 圓ヲ減スレバ、殘ル所ガ一億二千六百萬圓デアアル、而シテ井  
 上君ノ御説ハ、教員俸給ヲ減ゼザル見込ダ、斯ウ云フコトガ  
 前提デアアル、而シテ又實際ニ於テハ減スベキモノデナイ寧ろ  
 増加スベキ傾テナケレバナラヌト云フコトヲ御承知ナケレバ  
 ナラヌ、又然ラバ一億二千六百萬圓ヨリ假リニ現在ノ教員  
 俸給ノ一億五百万圓ヲ引ケバ、殘ル所ハ僅カ二千二百萬圓  
 デアル、此二千二百萬圓ノ僅カナ經費ヲ以テ、如何ニ物價低  
 下ニ傾ケル此際ト雖モ、一万二千ノ市町村而シテ五六万  
 ノ小學校、小學校ノ設備費、授業費、消耗費等ヲ、僅カ二  
 千二百萬圓ノ經費ヲ以テ、支辨シ得ルト井上君ハ信ズルヤ否  
 ヤト云フコトガ私ノ質問ノ第一點デアッテ、之ニ對シテ二回  
 御答辯ガアリマシタケレドモ、如何ニモ要領ニ觸レテ居リマ  
 セヌノデ、此點ヲ明確ニ御答辯アラシコトヲ希望スルノデゴ  
 ザイマス、而シテ若シ又御答辯ノ餘地ガ無イトスレバ、私ハ  
 井上君ノ三四割減ズルト云フコトハ、間違タモノ認メテ置  
 クト云フコトヲ茲ニ言明シテ置キマス(拍手起ル)

○井上角五郎君 議長……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)

○井上角五郎君 議長……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)

○井上角五郎君 議長……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)

減ラスト云フコトヲ眼目ニシテ議論シテ居ナイ、幾ラカ減ル  
 ノデアルト云フコトヲ言フタノデアアル、(ノウ)ソレハ全體  
 ノ趣意カラ御了解ヲ願フ置カケレバナラヌ、即チ出來得  
 ルト言フタノデアリマス、併テ斯様ニシテ高田君ノ御質問ニ  
 對シテ私ガ答ヘテ言ウタノハ、俸給ハ一ツモ減サヌトスレバ  
 殘ル三四割——四割ト云フノハドウ云フ言葉カラ出タカ  
 知レマセヌガ、三割乃至幾ラカノ金ヲ減ラセバ殘ルモノハ無  
 イデハナイカ、俸給ヲ別ニスレバ殘ルモノハ無イデハナイカ  
 ト言ハレルカラ、俸給必ズシモ整理節約ノ結果、減ラヌコト  
 ハナイノデアリマス、優待ノ趣意ヲ外ニシテ、俸給ノ減リ得ル  
 途モアルノデスト斯ウ御答シタノデス、是ダケノ事ヲ申上  
 ゲテ是デ御判リニナラナケレバ、此上ハ互ノ意見ノ違デアリ  
 マス、(ノウ)以テ御答ト致シマス  
 ○副議長(粕谷義三君) 廣岡宇一郎君  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)  
 ○廣岡宇一郎君 簡單ニ自席カラ……  
 (「登壇々々」ト呼フ者アリ)

マシタガ故ニ、重テテ第三回ノ質問ヲ許シマシタ譯デアリマス、(議長々々)ト呼フ者アリ)一決シテ一部ニ彼此ノ騷擾ガアリシト云フ爲メニ、之ヲ許シタ譯デアリコトダケハドウゾ御了承ヲ願フテ置キマス(拍手)

○佐々木安五郎君 議事ノ進行ニ就テ意見ガアリマス

○副議長(粕谷義三君) 佐々木安五郎君

〔佐々木安五郎君登壇、拍手起ル〕

○佐々木安五郎君 衆議院ノ議員ガ壇上ニ立テ發言中ニ、議長ガ發言中ノ議員ヲ置去リシテ直チニ休憩ヲ宣告シタト云フコトハ、衆議院開會以來前代未聞ノ椿事ト謂ハザルヲ得ヌデアアル、(先例ガアリマス)ト呼フ者アリ)併チガラ只今ノ議長ノ釋明ニ依ツテ、唯テ議長ハ言ヲト思フケレドモ聞エナカッタ言ハレルカラ、先ツ餘リ御憤レニナラス議長ヲ御責メスルト云フ譯ニ行カヌカラ、無理ニハ責メマセズ、併シ此席ニ於テ第三回ノ質問應答ヲ許シタト言ハレマスステレドモ、一回目ノ意味ガ切レズニ飽テモ判ラネバ、ソレヲ問返スノハ當前デアアル、其第一回ノ延長ニ過ギナイ、三回ト云フコトハ決シテ無イノデアアル、ダカラ是ハ若シ一回テ終ラヌケレバ二回問ウテ見ル、回数ガハナイ、意味ノ句切りガ付クト付カヌト二回数ガ付クノデアアル、ソレガ判ラヌノヲ問返スコトガ出来ヌト云、タナバ、質問ノ意義ハ何所ニ在ル、ソレカラ此際ニ於テ廣岡君ガ、此壇上ニ於テ衆議院ノ万事ハ採決デアスル外ナイト言フ、(其通り)ト呼フ者アリ)違ヒマス、憲法アリ、議院法アリ、議事法アリ、法ノ先例アリ、必シモ採決ハ依ラヌ、採決ト云フコトモ、規則ニ依ラザレバ出来ルモノノ決ハナイ、規則ヲ無視シテ何デモ採決ヲ以テ、規則デモ憲法デモ蹂躪スルト云フコトガ出来ルモノノ決ハナイ、斯様ナ暴論ヲ唱ヘテ而シテ議長ヲ脅迫スル者ガアルト云フコトハ、怪シカラ又話デアアル、是ハ議長ガ政黨ニ籍ヲ置カレル悲サデアアルカラ議長ハ宜シク此際議事ノ進行ヲ神聖ニスル爲メニ、先ツ黨籍ヲ脱シタナラバ如何デアアルカト云フコトヲ申シテ置キマス

〔辛イヤ、答辯ノ要ナシ〕答辯々々ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 只今ノ佐々木君ノ御言葉ニ對シマシテハ、此席ニ於テ御答辯ヲ致ス必要ハナイト存ジマス

○佐々木安五郎君 御實行ヲ請フ...

〔議事ヲ進行スベシト呼フ者アリ拍手起ル〕

○星島二郎君 諸君、大多數ヲ有セラル、政府與黨ノ立案ハ、或ル意味ニ於テ政府案ト心得テモ宜シカラウト思フノデアリマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)苟モ政府

ハ政黨政治ニ於キマシテ、既ニ與黨ノ案デアアル以上ハ明確ナル數字其他ヲ以テ、答辯ヲ得ナレバナラヌト思フノデアリマス、私ノ問ハントスル大部分ニ於キマシテハ、既ニ樋口、高田兩君ヨリ問ハレマシタケレドモ、未ダ私ノ満足スル答辯ヲ得マセヌ、故ニ質疑ガ甚ダ長クナリ、討論ニ移ルカノ如キ觀ヲ呈シマシタケレドモ、如何ニ此問題ガ天下ノ輿論デアリ、而シテ殊ニ地方民ガ如何ニ此教育費ノ問題ニ就テ熱心デアアルカ、而シテ之ニ對スル此發案ノ杜撰デアリ、而シテ誠意ガ無イカト云フコトヲ、此議場ノ光景ガ證明シテ居ルト思フノデアリマス、多クノ地方民ハ官報ニ依ツテ此光景ヲ見テ、誠意ノ無イト云フコトヲ認メ得ルト思フノデアリマス、私ハ第一ニ質問要項トシテ御尋シタイノハ、(自身誠意ガアルカニアル)ト呼フ者アリ)調査ト云フコトニナシテ居ル、此調査機關ハ、如何ナル意味ヲ有スル所ノ調査機關デアアルカ、ドウ云フ人ヲ以テ組織セラル、調査機關デアアルカ、立憲政治ノ根本ハ自治政治デアリマス、市町村費ノ教育費ト云フモノハ、市町村ノ自治ニ依リ爲サル、モノデアリマス、此市町村教育費ニ對シマシテ、若シ政府官僚ノ調査機關ニ依リマシテ、徒ラニ學校ヲ合併シ、徒ラニ權力ヲ以テ之ヲ合併シ或ハ節約ヲ強制スルモノトナリマシタナラバ、是レ自治ノ精神ヲ侵害スルモノト本員ハ思フノデアリマス、(拍手)此點ニ就キマシテ、粕谷副議長議長席ヲ退キ與議長復席提議案ノ明快ナル御答辯アラシコトヲ望ムノデアリマス、而モ本案ノ提出者ハ老先輩井上君デアアル、而シテ之ニ贊成セラルル中ニハ、文部省勅任參事官吉植君モ居ラレ、ノデアリマス、第二番目ニ先刻度ニ質疑ガアリマシタケレドモ、本員ハ再ビ明快ノ御答ヲ得タイ爲メニ御尋スルノデアリマスガ、(左様デアリマス)ト呼フ者アリ)若シ整理ノ必要——整理シ得ルモノトシマスレバ、如何程整理シ得ルノデアアルカ、ソレカラ建議案ノ文章ニ、若シ必要アル場合ハ相當ノ額ヲ支辨スルトアリマスガ、此相當ト云フ額ハ、大凡幾ラノ意味ヲ以テ提案サレタノデアアルカ、苟モ政府與黨ノ提案デアアル以上、少クトモ現在ノ文部當局、而シテ内務當局者ハ、平素ヨリ相當ノ教育費ニ關スル、或ハ地方費ニ關シテハ、研究調査サレタル筈デアリマス、若シ政友會諸君ガ之ヲ信ジナイナラバ、先刻モ高田君モ言ハレタ如ク、現在ノ文部省、並ニ内務當局ノ調査ヲ、不審ナリト認メラル、ノデアアルカドウデアアルカ、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)而シテ第三ニ御尋致シタイト思ヒマシタノハ、本員ハ理想ヨリ申シマスレバ、義務教育ノミナラズ、總テノ教育ハ國家之ヲ負擔シ、國民平等ニ教育ヲ受ケルヤウニシナケレバナラナイ、單リ現在ニ於キマシテハ高等——殊ニ大學教育ハ「ブルジョア」ノ階級ダナケレバ受ケラヌ結果ニナツテ

居ルノデアリマス、(拍手)而モ義務教育——全體ニ徒ラニ義務教育ヲ強ヒナガラ、之ニ十分ナル所ノ設備ヲ與ヘズ、之ニ十分ナル所ノ費用ヲ與ヘズ、而シテ其苦シイ義務教育ヲ了ヘテ居ル所ノ人間サヘ、選舉權ヲ與ヘナイト云フヤウナ多數ノ與黨デアリマスカラ、私ハ今ノ内容ヲ——其實際ヲ申上ゲマシテ、諸君ニ訴ヘテ見タイト思フノデアリマス、即チ此度ノ議會程、請願ノ數ニ於キマシテ如何ニ澤山ノ請願ノ數ガアツタカ、而シテ其大部分ハ、此教育費ニ關スル請願デアリマシテ、而モ最モ私共ガ痛切ニ感ジマスルハ、今迄ノ所謂國庫支辨ニ關スル請願ハ多クハ市町村長デアッタ、小學校ノ教員——此度ハ小學校ノ教員自ラ自分ノ貰フ俸給ニ對シ是レ以上市町村ニ強フルコトハ氣ノ毒ダカラ、自分デ自分ノ事ヲ言フノハ甚ダ苦シイケレドモ、是非共此際國庫ノ支辨ヲシテ呉レ、殖シテ呉レト、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマシテ、全國ノ小學校教員ガ、自ラ貰フ俸給ヲ自ラ請願シテ來テ居ルト云フ状態ハ、如何ニ此教育費ニ關シテ、既ニ節約以上私ハ寧ろ悲惨ナル現狀ヲ呈シテ居ルト思フノデアリマス、(拍手起ル)二部教授ハ非ナリ、教育心理、兒童心理ヲ諸君ガ御承知デアラナラバ、現在ノ如ク五十人六十人或ハモト多數ノ生徒ヲ一堂ニ集メテ、一人ノ教員ガ教育ヲスルト云フコトハ、最モ教育ノ精神ニ反シタルモノデアリマシテ、理想カラ申シマスレバ、モトトシテ「教員ヲ殖シ、モトトシ」ト云フコトハ、少クトモ一教室ニ十人位ニシナケレバナラヌト思フノデアリマス、是レ以上整理ノ必理ハ無イ、殆ド探シテモ認メルコトハ出来ナイノデアリマス、私ハ斯ウ云フ意味合ニ就キマシテ、現在既ニ整理ノ餘地ハナイニ拘ラズ、強テ之ヲセントスル趣意ハ邪邊ニ在ルヤ、而シテ最後ニ明カニ御尋シタイノハ、國民黨ヨリモ一ノ建議案ヲ出シテ居リマス、最早今日ノ地方ノ狀況ヲ見マスレバ、教育費ノ負擔ノ爲メニ、地方ノ自治其他産業等色ニナル意味ニ於キマシテ、教育費ノ爲メニ喰ハレ、其發達ヲ阻害シテ居ルノデアリマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)最早緊急少クトモ今年度ヨリ増加ヲスルカ、或ハ總テノ教員ノ俸給ヲ國庫ヨリ支辨スルカ假令債券ヲ起シテ——國債ヲ起シテモ、單艦一隻造ル代リニ、此教育費ヲ出サナケレバナラヌノデアリマス、蠶絲ヲ救済スルヨリモ、米穀ノ調査ヲスルヨリモ、ソレ以前ニ最モ大切ナルハ、第二ノ國民ヲ造ル此教育デアリマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)然ラバ此案ノ内容ニ若シ調査シテヤルナラバ、何年度ヨリ大正十年度カ、十一年度カ、何年ヨリヤラレントスル希望デアアルカ、其點ヲ明カニ御答辯アリタイト思フノデアリマス、(拍手起ル)明快ニ明快ニト呼フ者アリ)

○議長(與黨三郎君) 井上角五郎君

〔登壇々々〕ト呼フ者アリ

○井上角五郎君 只今ノ御質疑ニ向テ御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ハ、調査ノ機關ハ如何ヤウナルモノニスルカト云フコトデアリマス、私共ハ過日モ原君ノ演説ヲ聴キマシテ其趣意ヲ賛成シテ、即チ速ニ設ケラレタイト云フデアリマシテ、其演説ノ中ニハ、調査機關ハ斯様云々ニスル積リデアルト云フコトハ述ベテアルカラ、此所ニハ申上ゲマセヌ、〔判ラナイ〕ト呼フ者アリ、第二ハ節約ハ幾何スルノカ、サウシテ必要ナル場合ニ相當ノ支出ヲスルト云フノハ、ドノ位支出スルノカ、政府ノ與黨デアアルカラ、其等ノ數字ハ分テ居ルデアラウト云フコトデアリマシタガ、是ハ即チ調査ヲシテ始メテ分ル數字デアリマス、其調査ノ方法トシテハ、斯様ニモシタナラバ、何割ガ減ル途ガアリハシナイデアラウカト云フノガ、即チ私ノ假設的ニ申上ゲタ數字デアッテ、節約ノ途ナキニ非ズト云フコトタケハ、確ニ申上ゲタノデアリマス、〔分リマセヌ〕ト呼フ者アリ、第三ニハ御話ニナクテ所ノ御質問ノ要旨ガ、大變ニ請願書ガ出テ居ルトカ、此問題ハ極メテ必要デアルトカ云フヤウナ御説デゴザイマシテ、御質問ノ要旨ガ能ク分リマセヌデシタ、第四番目ニハ國民黨モ建議ヲ致シテ居ルガソレヲ調査ヲシテ何年度カラ何年度迄、本年度カ明年カ、何年度カラ教育費ガ節約サレルノデアアルカト云フ御質問ハアリマスガ、之ニ對シテハ先刻高田君ニ對シテ御答シタト同一ノ言葉ヲ以テ御答スレバ、十分デアルト思ヒマス、故ニ別ニ申上ゲマセヌ、是ダケデス

○岩崎勳君 本案ハ砂田重政君外二名提出、小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併テ付託セラレントヲ望ミマス

〔贊成々々〕反對々々 討セ論ノ通告ガアルト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 一寸——岩崎君ヨリ委員付託ノ動議ガ出マシタ、是ハ先決問題デアリマス、諮リマス、反對ノ聲モ聞エマスカラ起立ニ問ヒ決シマス

〔討論ノ通告ガアルト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 諸君——諸君ニ一言致シマス——諸君ニ一言致シマス、本案ニ就テハ、賛成反對ノ討論ノ通告ハアリマス——アリマスガ、委員付託ノ動議ハ先決問題デアリマス

〔ヒヤ——ノウ——〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 委員ニ付託ヲシテ、其委員審査ノ結果ニ就テ、十分討論ノ出來ルコトデアリマス

〔判ラヌ判ラヌト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 委員付託ノ動議ハ先決問題デアリマス、故ニ委員付託ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者 起立〕

○議長(奥繁三郎君) 多數ト認メマス、〔拍手起ル〕仍テ本案ハ岩崎君動議ノ如ク委員付託ニ決シマシタ〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 自餘ノ日程ハ次回ニ延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔異議アリ〕異議アリト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ガ多數ニ依ッテ決シマスト云フ議長ノ宣言異議ガアリマスナラバ……

〔異議アリ〕異議アリト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 此異議ニ二十名以上ノ賛成ガアリマス

〔アル——〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 委員付託ノ動議ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反對者 起立〕

○議長(奥繁三郎君) ソレデハ記名投票ニ依ッテ之ヲ決シマス〔拍手起ル〕閉鎖——岩崎君ノ發議ノ委員付託ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票——氏名點呼……

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(奥繁三郎君) 散會ノ時間ニ近ヅキマシタガ、時間ヲ延長致シマス

〔書記氏名點呼ヲ繼續ス〕

○議長(奥繁三郎君) 閉鎖——投票ノ結果ヲ報告致シマス

一宮房治郎君 伊澤平左衛門君  
池田 親泰君 原田佐之治君  
原 夫次郎君 八田 宗吉君  
長谷川宗治君 長谷場 敦君  
萩 亮君 波多野承五郎君  
西川 嘉門君 西村 正則君  
戸水 寛人君 富安保太郎君  
小田切磐太郎君 小山田信藏君  
岡 順次君 岡田伊太郎君  
若林 德懋君 柿原政一郎君  
河上 哲太郎君 川口誠三郎君  
海江田準一郎君 粕谷 義三君  
吉木 陽君 米澤與三三君  
高見 之通君 高木第四郎君  
高山 長幸君 竹澤 太一君  
田中 隆三君 田中 定吉君  
龍野周一郎君 龍 正雄君  
津野田是重君 塚原 嘉藤君  
中西六三郎君 中山 佐市君  
中島 鵬六君 中島 守利君  
仲田 德三君 成田直一郎君  
長峰 與一君 向井 倭雄君  
梅田 潔君 植場 平君  
上塚 司君 上笠安太郎君  
野副 重一君 黒住 成章君  
栗林 五朔君 久慈 貫一君  
久木田 叶君 山本悌二郎君  
山口 義一君 山口 熊野君  
山崎 猛君 安原仁兵衛君  
矢野 丑乙君 八木 逸郎君  
松岡 俊三君 松田 源治君  
松山常次郎君 牧野 良三君  
舞田壽三郎君 益谷 秀次君  
福井 甚三君 古林 與六君  
小久保喜七君 小坂 順造君  
穴水 要七君 秋本 喜七君  
赤田 瑳一君 天春 文衛君  
青柳郁次郎君 佐藤寅太郎君  
三枝彦太郎君 阪上 良信君  
指田 義雄君 崎山 克治君  
榊田清兵衛君 菊池長右衛門君  
吉良 元夫君 宜保 成晴君

井上角五郎君  
原田藤次郎君  
林 毅陸君  
花城 永渡君  
秦 豐助君  
友常毅三郎君  
陣 軍吉君  
岡崎 邦輔君  
大島實太郎君  
河相 三郎君  
改野 耕三君  
吉原 正隆君  
高橋長七郎君  
高野 毅君  
竹上藤次郎君  
田村順之助君  
多木久米次郎君  
土屋 興君  
中村 清造君  
中倉万次郎君  
永屋 茂君  
武藤 金吉君  
鶴澤 總明君  
野村治三郎君  
熊谷 直太君  
久下 豐忠君  
山本条太郎君  
山口 嘉藏君  
柳原九兵衛君  
松實喜代太君  
松野 鶴平君  
前田 米藏君  
麓 純義君  
小橋 一太君  
江崎幸太郎君  
東 武君  
青木恆太郎君  
齋藤鷲太郎君  
坂本素魯哉君  
櫻内 幸雄君  
清瀨規矩雄君  
木村清三郎君

委員ニ付託スヘシトノ動議ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ  
石川 玄三君 石川 三郎君 石川 淳君  
今泉嘉一郎君 岩崎宗茂助君 岩崎 勳君  
岩本 平藏君 岩切 重雄君 市村 貞造君

木下謙次郎君	木下十四三君	木下甚三郎君
三浦權兵衛君	水野吉太郎君	宮崎三之助君
宮崎友太郎君	宮古啓三郎君	白井博之君
島本信二君	島田俊雄君	清水市太郎君
廣岡宇一郎君	廣瀬爲久君	樋渡次右衛門君
日野辰次君	平田民之助君	匹田銳吉君
毛里保太郎君	森格君	清峯太郎君
菅原傳君	鈴木巖藏君	鈴木錠藏君
鐸木三郎兵衛君	上田彌兵衛君	井上孝哉君
委員ニ付託スヘシトノ動議ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ		
飯塚春太郎君	石井研二君	井上剛一君
橋本喜造君	濱口雄幸君	早速整爾君
本間三郎君	岡本幹輔君	大竹貫一君
大津淳一郎君	小野重行君	春日俊文君
香川保忠君	門屋尙志君	神谷彌平君
金澤安之助君	横山勝太郎君	吉田磯吉君
武内作平君	頼母木桂吉君	高田松平君
田中萬逸君	田中武雄君	田中善立君
添田飛雄太郎君	津原武君	内藤濱治君
永井柳太郎君	中野寅吉君	紫安新九郎君
村山喜一郎君	鶴澤宇八君	野田文一郎君
黒金泰義君	山道襄一君	山邊常重君
正木照藏君	古屋慶隆君	古賀三千人君
小山松壽君	小池仁郎君	小泉又次郎君
木槍三四郎君	出口直吉君	手島欽司君
淺川浩君	淺賀長兵衛君	淺野順平君
安達謙藏君	秋虎太郎君	荒川五郎君
綾部惣兵衛君	佐々木千秀君	佐藤啓君
齋藤宇一郎君	作間耕逸君	菊池良一君
三浦得一郎君	三木武吉君	箕浦勝人君
清水留三郎君	樋口秀雄君	下岡忠治君
關和知君	鈴木周三郎君	森山儀文治君
鈴置倉次郎君	板野友造君	鈴木富士彌君
星島二郎君	土井權太郎君	石川長右衛門君
高草美代藏君	中川幸太郎君	高柳覺太郎君
倉石知藏君	前川虎造君	植原悦二郎君
小橋藤三衛君	鮎川盛貞君	湯淺凡平君
砂田重政君	奥村千太郎君	山邑太三郎君
木村權右衛門君	南鼎三君	仙波太郎君
富永孝太郎君	大濱忠三郎君	中野正剛君

野溝傳一郎君 山本厚三君 松本君平君  
 佐々木安五郎君  
 ○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行ニ就テ發言ヲ求メラレテ居リマス。小橋藤三衛君

○小橋藤三衛君 只今井上君提出ノ案ニ就キマシテハ、漸ク一讀會ノ質問ガ終テ、而シテ討論ニハ通告者ガ決定致シテ居ルノデアリマス、然ルニ假令是ガ先例デアルトハ申セ、其討議ヲ許サズシテ直チニ委員會ニ移サル、ト申スコトハ、德義上甚ダ不都合ナル事デアリマス、況ヤ先刻來ノ提案者ト各質問者トノ間ノ應答ノ狀況ニ依ッテ、頗ル此問題ガ提案者ノ利益デアリ、政友會ノ面目ニ關スルト云フコトニナラテ居ルノデアリマス、然ルニ是ガ先例アリトシ、又議事規則デ許サレトシテ斯様ナ事ヲ致サレト、如何ナル印象ヲ與ヘルカト云フト、政友會ハ頗ル窮シタノデアル、故ニ其苦境ヨリ逃レンガ爲メニ、斯様ナ事ヲ致シタト云フコトニ相成ルノデアリマス、(拍手)斯様ナ事ハ大政黨ノ面目トシテ、與黨ノ面目トシテモ、面白カラザルコト、吾々信ズルノデアル、故ニ一旦斯様ナ事ガ決シタ以上ハ取返スコトガ出來マセヌケレドモ、議長ニ於テ斯様ナ事ヲ御取扱ニナルト云フコトハ、確ニ私ハ失態デアルト信ズルノデアリマス、(拍手)假令動議ガアリト致シマシテモ、議長ハ宜シク此自黨ノ面目ニ省ミ、又政治上ノ德義ニ省ミテ、斯様ナ事ハ御取計ニナラナイノガ然ルベキ事ト吾々ハ思フノデアリマス、然ルニ議長ガ斯様ナ事ヲ致シタト云フコトハ、甚ダ奇訝ニ堪ヘヌノデアリマス、此點ニ就テ議長ハ吾々ノ首肯シ得ベキ明快ナル御答辯ヲ與ヘラレントヲ希望スルノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 答辯致シマス、議長ハ先例並ニ是マデヤリ來リタル例ニ重テ置キマシテ、委員付託ノ動議ノ出デナイトキニハ討論ニ移リ、委員付託ノ動議ガ出タラバ先ヅ先決問題トシテ諮ルノガ先例ニナラテ居リマス、今回故ラニ故意ニ依ッテシテ譯デハナイ、是マデヤリ來ッテ先例通り扱ッタノデアリマス、然ルニ小橋君ヨリノ御注意ガアリマシタ、議長ハ餘リ慣レナイ議長デアリマスカラ、其邊ハドウシ...

○岩崎勳君 殘餘ノ日程ニ對シ、延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々〕議長々々ト呼フ者アリ議場騒然  
 ○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——岩崎君ヨリ只今延期ノ動議ガ出マシタ、贊成ガアリマスカ

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ  
 ○議長(奥繁三郎君) 延期ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕  
 ○議長(奥繁三郎君) 起立者多數、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——散會  
 午後六時九分散會